

資料編

1 各区の主な事業	… 資-1
○ 市民参画・協働の仕組みづくり	… 資-1
(1) 「未来わがまちビジョン」推進関連事業	… 資-1
(2) 「区地域福祉アクションプラン」推進関連事業	… 資-3
(3) その他の事業	… 資-5
○ 地域福祉・健康づくり	… 資-9
(1) 地域福祉関連事業	… 資-9
① 「区地域福祉アクションプラン」推進関連事業〔再掲〕	… 資-9
② その他の地域福祉関連事業	… 資-11
(2) 健康づくり関連事業	… 資-11
○ 子育て支援	… 資-13
○ 防災	… 資-15
○ 防犯・安全安心のまちづくり	… 資-17
○ 駐輪対策	… 資-18
○ 環境保全	… 資-19
○ 美化推進	… 資-20
○ 緑化推進	… 資-21
○ 企業支援、企業・大学との連携	… 資-23
○ 地域資源・歴史・文化	… 資-24
○ 音楽	… 資-28
○ スポーツ活動の推進	… 資-30
○ 情報発信	… 資-31
○ 区政モニター	… 資-32
○ 市民サービスの向上	… 資-32
2 各区の独自研修・サークル活動など	… 資-33
3 サービスの向上、よい良い職場風土形成に向けた情報共有の取組み（庁内ニュース）	… 資-36
4 区のマスコットキャラクターなど	… 資-37

1 各区の主な事業

大阪市の各区では、さまざまな分野で市民の皆さんとの協働事業をはじめとするさまざまな事業が展開されています。

ここでは、白書本編の「3 市民との協働による特色ある地域づくり」でご紹介した事業も含めて、平成 20 年度において各区で行われている重点事業などの自主企画事業を中心に、主な事業を分野ごとにご紹介します。

○ 市民参画・協働の仕組みづくり

(1) 「未来わがまちビジョン」推進関連事業

区	事業名	事業概要
北区	北区「未来わがまち会議」継続事業 地域活動の拠点形成とその支援	北区「未来 わがまちビジョン」の実現のために立ち上がった、新「未来 わがまち会議」における、行政との協働による新たなまちづくり活動の拠点形成とともに、まちづくりを行う個人・グループや既存の地域団体とが出会い、ネットワークを広げ、様々な活動へとつなぐことのできる「協働プラットフォーム」の強化をめざす。
都島区	都島区未来わがまちビジョン推進事業	都島区未来わがまちビジョンの具体化を区民と行政が協働で推進するため、①わがまちビジョン推進会議との事業協力による大川沿いの美化活動や、蕪村公園の H20 年度供用開始に合わせた蕪村まつり事業等の実施、②区民が自ら実施するまちづくり活動を支援するため、活動経費の一部を補助する。
福島区	冊子「わがまち福島区」を活用した出前講座等支援事業	区民に福島区の歴史・文化や地域の特性などを再発見、再認識する機会を設け、愛着心の向上や地域コミュニティの醸成につなげていくために、平成 18 年度に作成した冊子「わがまち福島区」を活用し、冊子に掲載できなかった事項を補完した出前講座用マニュアルを作成し、新たなマンションや地域、学校に出向き、「わがまち会議」委員などによる出前講座を行う。また、区ホームページにおいてもマニュアルをベースにしたページを作成し、より多くの人に周知する。
福島区	マンションと地域の架け橋事業	地域とマンション住民とが出会い、相互理解を深めることで、将来的に共に支えあえるまちをめざすもので、行政・区社協・地域組織等の協働により、マンションに出向き、子育てサロンや喫茶サロンの開催等を実施することにより、マンションと地域の相互理解を図る。
此花区	此花区エコアクション・プロジェクト	此花区まちづくり会議を中心として、区民・地域・区内商店街・行政の協働により、打ち水やマイバッグ運動など身近にできる行動を通じて環境にやさしい生活実践をめざし区民を巻き込んだ運動に取り組む。
中央区	未来わがまちビジョンに基づく区民主体の課題克服・魅力向上支援事業	中央区の魅力の向上を区全体の地域課題として捉え、地域住民のネットワークを最大限に活かし、その地域に伝わる歴史・文化等いわゆる“お宝”を紹介する、「わがまちガイドナビ」を作成する。さらに、これらの活動を広報し、多くの区民の参加を促すとともに、ガイドナビを活用した区民交流イベント等を企画・開催する。
西区	西区「未来わがまち会議」継続事業 地域活動の拠点形成とその支援	新住民や地域に関心を持たない層を地域活動に参加させる方策を「未来わがまち会議」で検討する。 これまでの活動の振り返りと検証から「西区を知り、愛着を持ってもらう」情報発信を活動目的として区事業に参画して活動の範囲を広げるとともに、ホームページ等による活動内容の情報発信を支援し、広報の強化と「わがまち意識」の啓発を図る。
西区	共通の水辺空間を利用した三区まちづくり事業(三区物語)	三区の未来わがまち会議のメンバーをはじめ、大阪府や各種団体及び企業の参加を広く求め、実行委員会を立ち上げるとともに、20 年度も三区の結節点であるドーム南側付近でイベントを実施する。その際には、水上ステージに加えて、地域資源としての「川」を活かしたまちづくりや環境・緑化などのシンポジウムを開催し相互交流を図るとともに、大阪市の水辺再生事業の一翼を担う。
港区	港区版プラットフォーム形成に向けた取組み	港区内で活動する団体や人の交流のきっかけづくりとして「わがまちみなとフォーラム」を開催する。また、港区の大きな課題であり、区民の関心が高いテーマを3つ設定し、それぞれのテーマごとに港区内で活動する団体や人が自由に参加して情報や意見を交換し、交流できる場を定期的に開催し、その運営を支援する。

区	事業名	事業概要
大正区	大正区プラットフォーム育成支援事業	区民に広く参画を求め、地域活動のプラットフォームの形成による、区民主体のまちづくり事業を支援する。 ①安全サポート隊活動支援:安全サポート隊の活動を区広報紙特集号で周知する。 ②自転車対策活動支援(トライアルプラン):「放置自転車対策官民一斉行動」を実施し、区広報紙特集号で周知する。 ③地域防災力の向上をめざすまちづくり支援:地域ごとの講習会(図上訓練)の実施及び避難訓練を実施する。 ④わがまちビジョン部会支援事業:自主企画活動を支援し、区民協働のための人材を育成する。 ⑤アクションプラン推進支援:区内医療機関、薬局、理容所等やバス停留所に行行政、町会等の各種情報を配置し、情報発信の拠点づくりを進める。
大正区	わがまちビジョン部会支援事業(大正区プラットフォーム育成支援事業【再掲】)	「わがまちビジョン」の課題から「子ども」「文化」「みどり」などをテーマにグループ別に自主企画事業を実施し、事業参加者数及び部会参画委員の拡大を図り地域コミュニティ意識の向上を促進していく。また、近隣区のわがまち委員との意見交換会を開催するなど、今後のまちづくり活動の中心となる人材育成を図っていく。
大正区	共通の水辺空間を利用した三区まちづくり事業(三区物語)	大正区、西区、浪速区の三区の結節点であるドーム南側付近で、水辺に接する共通の課題をもつ三区が連帯して、市民協働による取組みをよりいっそう進めていき、区をまたがる課題に着手していくことで、さらなる地域活性化につなげていくことを目的とした各種イベント(地域資源である「川」を活かしたまちづくりや水辺再生をテーマとした水上ステージライブ、三区のわがまちフォーラム、環境・緑化等に関する講座等)を官民協働で実施する。
天王寺区	地域活動の促進と地域活動の担い手の育成事業	地域活動の促進と地域活動の担い手の発掘・育成を図るため、新住民の地域活動への参画、地域住民間の交流の促進、さらに地域に対する関心を高めることを目的とした住民主体の交流活動事業を展開する。
天王寺区	天王寺区未来わがまちプランの推進事業	「地域の歴史や文化を楽しもう」「ふれあいのあるまちにしよう」「安全できれいなまちにしよう」の三つをテーマに、区民自らが天王寺区のまちづくりについて考え地域の活動に取り組む。 20年度は天王寺区未来わがまち会議を、5月～3月の間に9回開催。 歴史と文化を知ることや新たな魅力を再発見する機会を提供することにより、わがまちに対する愛着心を育むために、区との協働により、4月・10月に「天王寺探訪ウォーク」を開催し、12月31日には「除夜の鐘つき」を開催した。
浪速区	「なにわの日」事業	7月28日「なにわの日」の前後に、区内の様々な分野の交流を通して連携を深め、既存ストックをつなぎ新しい活動のきっかけを作り、芸術・文化の魅力的な財産の発見と浪速区の認知度アップにつなげるため、「アート(音楽・芸術・技術)」をテーマにした様々なイベントを開催する。
浪速区	区民との協働による区内の落書き一斉消去	地域住民、企業、官公署、ボランティアなどが一同に集まり、「“なにわ落書き一掃デー”」として区内全域で落書き一斉消去運動を展開する。
浪速区	共通の水辺空間を利用した三区まちづくり事業(三区物語)	川を境界として隣接している3区(浪速、西、大正)による、川やリバーサイドを舞台とした合同イベント。各区間の人的ネットワークを強化し日常的な交流を促進することで、まちづくりへの一層の活性化を図るとともにまちの魅力を広くPRする。
西淀川区	西淀川区民のまちづくり支援事業「未来わがまちビジョンの推進」	「西淀川区未来わがまちビジョン」が示す西淀川区の将来像「住みやすいまち西淀川区」の実現にむけて、区民自らが主体的に、あるいは行政と協働して取り組むまちづくり活動を支援する。具体的活動として、①大野川緑陰道路(3.8km)全域を地域や各種団体と連携して年4回(春夏秋冬)一斉に「クリーン大作戦」を実施する。②区内の公園等に地域・緑化リーダーと協働して花壇づくりを行う。③区の歴史文化的資源を掘り起こし「西淀川お宝100選」を作成する。④食文化の視点からまちの歴史・文化を発見し次世代に伝える取組みを行う。
淀川区	未来わがまちビジョン推進支援事業	わがまち会議(地域版)を平成20年度中に6中学校区中、2中学校区で実施する。また、区わがまちビジョン推進委員が区レベルのビジョン実現のため、その具体的事実を活動実践するために指導的役割を担えるよう人材育成を行う。
東淀川区	まちづくり地域リーダー及び地域ゆめ・まち会議のまちづくり活動への支援事業	「東淀川区未来わがまちビジョン」を推進するため、学習会を通じて「地域ゆめ・まちリーダー」を育成するとともに、各地域で「地域ゆめ・まち会議」を開催することにより、区民が参画するまちづくり活動の議論の場の形成と「地域ゆめ・まち会議」が取り組む活動を支援する。
東成区	「東成区未来わがまちビジョン」等区民主体の取組みへの支援事業	東成区未来わがまち推進会議が中心となった各種の区民主体のまちづくり事業を支援する。区民の広い参加・協力により事業を実施し、区民主体のまちづくりの新たなプラットフォームの形成をめざす。

1 各区の主な事業

区	事業名	事業概要
生野区	未来わがまちビジョン等 市民主体の取組みへの支援	『生野区未来わがまちビジョン』の推進活動を展開している「いくのわがまちクラブ」支援活動を通じてビジョン策定に基づいた区民主体の取組みを支援し、まちづくり活動のプラットフォーム形成をめざす。
生野区	「いくのトライアングルタウン」魅力発信支援事業	鶴橋・桃谷・御幸通(コリアタウン)の商店街と古い町並みや史跡などの地域資源を生かしたネットワーク網を築きあげ、これらの地域をトライアングルタウンとして、その魅力を全国に情報発信しつつ、地域住民のわがまち意識の高揚と街の活性化を図る。
旭区	「翔ばたけ 旭区ブランド」事業	「旭区未来わがまちビジョン」のテーマのひとつである「旭区の名物づくり」実現のため新たに参画区民を募集のうえ「旭わがまちお宝発見隊」を再組織し、第2回のお宝募集を行う。認定された「旭区ブランド」「旭わがまちお宝」の総合発表会の開催等PRをすることにより地域活性化や住民主体のまちづくりを図る。
城東区	わがまちビジョン推進支援事業	城東区未来わがまちビジョンの実現に向けた区民の話し合いの場である「城東区ゆめ～まち～未来会議」の開催を行うとともに、「花緑部会」「音楽部会」「青少年部会」の各部会のプロジェクトの実施支援を行う。また、ビジョン実現のより一層の推進、及び区民の自発的なまちづくりの参加を促すため、ビジョンのテーマに沿った事業を一般公募し、審査の上、助成を行う。
鶴見区	「鶴見区未来わがまち推進会議」運営並びに活動支援	「鶴見区未来わがまちビジョン」の実現に向け、「鶴見区未来わがまち推進会議」において、区民が主体となり活動内容を議論し、水路清掃活動などの実践活動を実施している。そのような活動がさらに発展するよう支援を行う。
阿倍野区	未来わがまち推進会議事業	地域におけるさまざまな課題を解決するためには、互いの交流が重要であることから、各々の団体等の活性化を図ることを目的として「わがまちあべの会議」を開催し、地域、区内団体、区内で活動するボランティアグループ、NPO等に情報共有や意見交換する出合いの場を提供する。
住之江区	すみのえCSO事業	NPOや自主グループなどがともに協力し合えるネットワークづくりを支援し、活動状況やイベント開催の情報をホームページで伝える。
住之江区	住民主体のまちづくり支援事業	地域別で校区わがまち会議(仮称)を開催し、気軽にまちの課題を話し合う場づくりを行う。まちづくりフォーラムでは分野を越えて交流する団体・個人間での協力・仕組みづくりを支援する。
住吉区	住民主体のまちづくり支援事業	「住吉区未来わがまちビジョン」の実現に向け活動する「住吉区まちづくり懇話会」を住民主体で運営する。住民主体のまちづくり活動の発表の場として「住吉区まちづくりフォーラム」を住吉区アクションプラン推進委員会や住吉区コミュニティ協会等と共催し、区民にまちづくり活動への参加を広く呼びかける。
東住吉区	東住吉区未来わがまちビジョン推進事業	「東住吉区未来わがまちビジョン」の推進のため、「未来わがまち会議・東住吉」の活動を支援し、区民主体のまちづくりと地域プラットフォームの形成につなげる。また、子ども達が様々な体験を通じてまちの未来を考える「わがまち楽校」を実施する。
平野区	「平野区まちづくりしおり」策定事業	地域の課題や将来への構想を具体的に実践するにあたり、未就学児を含む子育て世帯、高齢者世帯との世代間交流を取り入れ、各連合ごとに特色ある「まちづくりのしおり」を作成し、区民との協働によるまちづくりに活用する。
西成区	「未来わがまち推進会議」等 区民主体の取組み支援事業	未来わがまち会議でまとめられた「夢プラン」の実現に向けた支援を行うとともに、市民活動交流会の開催に取り組み、住民相互のつながりを深め、地域活動のプラットフォームづくりを行っていく。

(2) 「区地域福祉アクションプラン」推進関連事業

区	事業名	事業概要
北区	北区地域福祉アクションプラン推進事業	地域住民と行政の協働により北区地域福祉アクションプランを推進する。地域の福祉課題を解決するため、4つのテーマ(①安全・安心なまちづくり②身近な福祉情報の発信③世代間交流や障がい者と健常者の交流、住民同士のあいさつ運動④癒しの提供、ハートのあるまちづくり)について検討し、事業を展開する。
都島区	区アクションプラン推進支援事業	「都島区地域福祉アクションプラン」の計画推進にあたり、地域における相談窓口を開設し、広く情報発信を行うとともに、住民懇談会を開催することにより地域課題を共有し、課題解決に向けた支援を行う。

区	事業名	事業概要
福島区	マンションと地域の架け橋事業	地域とマンション住民とが出会い、相互理解を深めることで、将来的に共に支えあえるまちをめざすもので、行政・区社協・地域組織等の協働により、マンションに出向き、子育てサロンや喫茶サロンの開催等を実施することにより、マンションと地域の相互理解を図る。
福島区	障がいに関する啓発事業	住民主体である地域福祉アクションプラン推進委員会が、市民とりわけ児童とその保護者に障がいと障がい者のことを理解してもらうために行う事業であり、障がいの有無に関わらずに相互理解を深めることで「共生社会」の実現に寄与しようとするものである。自主制作による紙芝居を小学校や区内ショッピングセンターなどで上演する。
福島区	区アクションプラン推進支援事業	平成 18 年 3 月に「福島区地域福祉アクションプラン」が制定され、誰もが安心して自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりを推進していくため、「マンションと地域の架け橋事業」「障がいに関する啓発事業」など五つのプロジェクトを立ち上げ、プランの推進に取り組む。
此花区	区地域福祉アクションプラン推進支援事業	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、官民協働で取り組む地域福祉アクションプランが円滑に推進できるよう推進委員会の開催や広報・啓発などを行う。
中央区	アクションプラン推進支援事業	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、地域での地域・安全・見守りネットワーク事業、子育て支援事業、交流と情報交換の場づくりと情報発信事業等を実施し、公民協働で地域福祉のネットワークづくりを行っていく。
西区	区アクションプラン推進支援事業	地域でだれもが、自分らしく安心して暮らしていくために、地域を基盤として広く社会的援護を要する人々を対象とし、地域に携わるすべての人の支え合いにより、地域福祉を推進する。高齢者、障害者、子育ての3つの部会を柱として交流会、講座、イベント等を通じ地域福祉のネットワークを広げる。
港区	港区アクションプラン推進支援事業	平成 18 年度から展開している「花プロジェクト」「マッププロジェクト」のさらなる充実並びに「防災プロジェクト」を本格的に推進し、地域にかかわる人々の支え合いによる事業展開を図っていくことにより、地域福祉に必要なしくみづくりを進めていく。
大正区	アクションプラン推進支援事業（大正区プラットフォーム育成支援事業【再掲】）	買い物中や待ち時間に誰もが気軽に地域情報・福祉情報などが得られるようにするため、店舗や医療機関等の協力を得て専用ラック等に設置し、各種情報を発信していく。 また、区内バス停留所に新たに掲示板を設置し、各地域ごとで管理を行い、情報発信の拠点とする。
大正区	区アクションプラン推進支援事業	区や地域の情報を音声で発信する「ハロー大正案内ダイヤル」や子どもたちの交通安全・交通マナーの向上を目的とした「自転車マナーアップ教室」の開催をはじめ、より身近な地域福祉を推進するための「大正区地域福祉計画アクションプラン」の具体事業推進のための支援を行う。
天王寺区	区アクションプラン推進支援事業	地域住民の交流と団体間の連携を図り、見守りや支援の充実に向け「子育て愛あいフェスティバル」の開催、お互いを理解し新たな気づきを育む「天王寺愛あいふれまつり」の開催、さらに、障がいのある人への理解を深めるため「ポッチャ（＝パラリンピック種目）」大会を開催するなど、福祉のまちづくりに向け公私協働で取り組む。また、人材の育成（「保育ボランティアの養成講座」「地域デビューきっかけ講習会」を開催）や福祉・地域情報の周知・啓発を図る。
浪速区	アクションプラン推進支援事業	地域において人と人との繋がりを図るため住民懇談会を開催し、高齢者と若年層との接点をつくり住民同士の交流を深め、お互いに支えあう地域づくりをめざす。
西淀川区	地域福祉アクションプラン関連事業	公私協働により平成 18 年3月に策定された西淀川区地域福祉アクションプランの推進に対して必要な支援を行い、「気軽に紹介、顔の見えるにしよどがわ」の実現に向けて、①高齢者を日常的に地域の方々で見守る「高齢者 110 番ネット事業」、②アクションプラン塾事業、③障害者支援ネットワーク推進事業を実施する。
淀川区	淀川区アクションプラン推進支援事業	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、区推進委員会の開催や広報、啓発を行うなど、公私協働で取り組む地域アクションプランの推進に対し必要な支援を実施する。
東淀川区	区地域福祉アクションプランの推進における、住民主体の福祉のまちづくり支援事業	①コミュニティスポットの運営支援事業②住民主体の福祉のまちづくり事業③社会福祉施設と「地域」の交流事業の3つの事業を通じ、地域福祉の情報発信、区民の地域福祉への関心を促進することで、「東淀川区アクションプラン」の課題を解決し、区の特性を生かした、住民主体の福祉のまちづくりを支援する。

1 各区の主な事業

区	事業名	事業概要
東淀川区	区地域福祉アクションプラン推進支援事業	「地域福祉アクションプラン推進委員会」運営、住民懇談会の開催により、区において公私協働で策定された地域福祉アクションプランの推進に対して必要な支援を行うとともに、広報紙・ホームページを活用し、広く区民に周知・啓発を図る。
東成区	区地域福祉アクションプランの推進に向けた支援(ネットワーク形成支援)	区地域福祉アクションプランの推進に向け、情報誌や福祉マップ作成における、区内の子育て支援及び障害者支援情報の収集及び提供を通じて、区内の当事者及び支援グループのネットワーク形成を支援する。
生野区	区アクションプラン推進支援事業	地域の誰もが安心して生活できるように、なんでも相談いっしょ〜い・在日韓国朝鮮人外国籍住民・デートDV防止・こども育皆の4つの推進チームが活動や啓発に努めてきた。「いくのまちづくりフォーラム」に参加し活動報告を行う。
旭区	区アクションプラン推進支援事業	緊急時のための「お守りカード」の配付や災害に備えた訓練を通じて近所同士が顔見知りになる「たきだしまつり」、また、しょうがい児・者や家族、支援者が出会い、その輪を広げる「和んで座談会」などの事業とともに、平成20年度フロンティア事業として、男性が地域に関わりをもつための第一歩、連続講座「旭しょうぶ大学」、誰もが気軽に集え、相談ができ、情報を得られる場所「あさひあったかさち」事業を展開している。
城東区	城東区地域福祉アクションプラン推進事業	地域でだれもが自分らしく安心して暮らしていくために、地域に関わるすべての人の支え合いにより推進していく「城東区地域福祉アクションプラン」(平成17年度策定)について住民フォーラムの開催等を通じて一層周知を図るとともに、地域における、その推進に向けた取組みを支援する。
鶴見区	区アクションプラン推進支援事業の実施	地域の実情にあった地域福祉を推進するため、公私協働で取り組む地域福祉アクションプランが円滑に推進できるよう推進委員会・各部会の活動や具体的な取組みの支援、広報・啓発などを行う。こども部会では各校下で「子ども防犯教室」を平成21年2月から順次開催。障がい者部会では平成20年2月に引き続き、平成21年5月に「障がい者きらめきスポーツフェスタ」の開催に向けて準備に取り組んでいる。
阿倍野区	区アクションプラン推進支援事業	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、公私協働で取り組む地域福祉アクションプラン(地域福祉行動計画)が円滑に推進できるよう推進委員会の開催や広報・啓発などを行う。
住之江区	区アクションプラン推進	地域福祉の推進に必要な仕組みづくりを進めるに、住民懇談会の開催をはじめとした取組みに対して必要な支援を行う。
住吉区	アクションプラン推進支援事業	「住んでいて良かった」「ずっと住んでいたいな」と思えるまちづくりをめざして公私協働で取り組む地域福祉アクションプラン推進のために、推進委員会や企画コーディネート委員会、各部会等を開催する。また、広報・周知を行う。
東住吉区	東住吉区地域福祉アクションプラン推進事業	地域福祉アクションプラン推進委員会及び推進部会の取組みを支援する。「防災」をアクションプラン推進の柱と位置づけ、独自の紙芝居を作成し地域におけるコミュニケーションの輪づくりに活用、また『わたしカード』の普及など各地域で啓発活動を実施する。
平野区	区アクションプラン推進支援事業	平野区では、平成18年度に地域福祉アクションプランと未来わがまちビジョンが一つとなり「和つしよい!ひらの」を結成した。推進委員会・運営委員会協議により、地域・各種団体・行政等が協働のもと区民が安心して安全に住める、住みよいまちづくりの体制を整えていく。平成20年度の具体的な取組みとして地域住民主体で地域が課題の提案・講師依頼・開催業務を行い、3回の連続講座「おとなの学校」を開講する。また、広報紙・ホームページにより区民に対する周知を行う。
西成区	西成区地域福祉アクションプラン推進支援事業	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、公私協働で取り組む地域福祉アクションプランが円滑に推進できるよう推進委員会の開催や広報・啓発などを行う。

(3) その他の事業

区	事業名	事業概要
北区	区民活動拠点整備事業	地域団体やNPO・ボランティアグループなどの市民活動団体の活動や相互交流及び情報交換と情報発信の拠点となる場の整備を行う。また、市民活動団体の活動実態と行政支援ニーズ調査、企業の社会貢献活動の実態調査を通じて、まちづくり市民活動の支援と協働の拡大を図る。

区	事業名	事業概要
北区	北区市民活動サポート事業	地域団体やNPO法人、ボランティアグループ等が自ら知恵を絞り創意工夫された区内でのまちづくり活動に要する経費について、一定の支援を行うとともに、市民活動団体が自らの活動を広く発表する場を提供することにより、市民活動の意義に対する理解を深め、地域主導のまちづくり活動の推進を図る。
北区	他都市の先進的地域振興事業(研究)調査	大都市におけるまちづくり先進事業及び地域内特性を調査し、その結果を基に北区の特色あるまちづくり事業を展開する。
北区	区民と取り組む自転車対策検討モデル事業	放置自転車問題の解決にあたっては、地域住民と共に継続して取組みを進めることが重要であることから、区民が自主的に行う放置自転車対策を支援し、問題の解決に向けての取組みの推進を図る。
都島区	京橋地域の安全なまちづくり事業	安全で快適に通行できる活気と賑わいのある京橋地域のまちづくりを進めるため、地域住民や商店街、企業、関係行政機関による協議会を設立し、「道路へのはみ出し営業」、「放置自転車」、「ごみのポイ捨て」「路上喫煙」などの解消を目指して活動している。
福島区	区民との協働による放置自転車対策事業	従来より区放置自転車対策協議会により啓発活動を実施しているが、依然として区内主要駅には慢性的に自転車が放置されている。今後、駅周辺における自転車利用実態調査を実施し、課題の分析を図るとともに、区民との協働による放置自転車追放に取り組む、自転車利用のマナー向上をめざす。
此花区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	自転車利用の増加による路上放置が問題となっている。「安全できれいな駅前やまちに！！」をテーマに地域住民を主体として参加型の放置自転車対策を進める。
此花区	「おもしろトレイルルート」のウォークラリー	より多くの区民に此花区の名所・旧跡を巡って知ってもらおうとともに、区民の健康増進や区への愛着を深めるため、環境フェアや此花区民学芸員養成事業など、区民参加のイベントの際に拡充実施する。
此花区	まちづくり能力開発セミナー事業(カエルクラブ)	平成20年度においては、「このはなカエルクラブ」をさらに充実・発展させ、これまで育ててきたまちづくりの芽を成長させるとともに、まちづくり事業の“質(内容)”の向上をめざし、まちづくりを中心となってマネジメントのできる人材を養成することを目的とする。 また、セミナーの成果を生かし、子ども対象のおもちゃの物々交換プログラム「かえっこバザール」に「防災・防犯」「環境問題」「他世代交流」などのテーマを合体させた、子ども達が楽しく参加できる独創性のある地域貢献型「かえっこバザール」を区民対象に開催する。
中央区	新たなコミュニティを創造する“出会い、ふれあい中央区”事業	企画提案コンペにより、コミュニティの効果が十分に発揮できる小学校下において、区民、市民団体等で構成される実行委員会方式により自主的な手作りのコミュニティ事業を展開する。
中央区	環境浄化事業	区民とともに、道路美化や違法看板の撤去指導、ごみの不法投棄対策等、環境浄化に取り組む強化月間を創設し、集中して広報啓発活動を実施する。また、橋梁等の清掃などを区民と協働で実施し、事業終了後も区民が自主的に取り組める仕組みの形成を図る。
中央区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	放置自転車が多い地下鉄駅周辺で、自転車利用者の属性や、自転車が放置される理由などを調査する。その結果に基づき市民と関係行政機関の代表で構成される協議会で個別具体的な対策を検討し、その対策を区民と協働で実施する。
西区	公園を活かした都心の暮らしづくり事業	「西区未来わがまちビジョン」の取組みテーマのひとつ、「公園を活かした都心の暮らしづくり」をテーマとした各種イベントを「未来わがまち会議」及び地元住民によるネットワーク組織など、区民と協働で開催する。
港区	区民パワー発揮のための地域自主活動支援事業	地域におけるまちづくり活動を幅広い分野で、また活発に住民の方に取り組んでもらうために取り組む地域活動に対して、補助を行い、区民主体のまちづくりを進めていく。
港区	自転車利用適正化事業	港区わがまちフォーラムによる自転車のマナーアップ講習会や自転車マップの作成などの活動を支援し、環境にやさしい移動手段であり健康の維持にも役立つ自転車の利用を促進する。
港区	港区歩港会	区民自らが企画し、区内を歩くことで、自分たちの住んでいるまちを再認識してもらう。自分の住んでいるまちをより深く知ってもらうことで、区民がわがまちへの愛着を育み、まちづくりに参加する気持ちを持ってもらう。

1 各区の主な事業

区	事業名	事業概要
天王寺区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	自転車利用の適正化に向け市民との協働により各種活動に取り組む①地域住民との協働による自転車の現地啓発 ②自転車の適正利用に向けた地域住民との協働を進めるための協議会等の設置・運営 ③自転車利用の実態調査(平成19年度の調査の補完) ④地域との協働による自転車適正利用マップ及び自転車利用ルールブック等の作成 ⑤児童への自転車免許講習会の実施及び自転車免許証の発行
天王寺区	てんのうじまちづくり活動支援	未来わがまちプランや地域福祉アクションプランの取り組みをはじめ、住民からの企画や要望など、多様化・複雑化する区民ニーズに基づいた区独自の取り組みを展開し、安心・安全、ふれあいのあるまちづくりに向け、地域における主役である住民や地域活動をサポートするNPO等と行政との協働によるまちづくりを推進する。
天王寺区	天王寺愛あいふれあいまつり	区全体で支援を必要とする高齢者、障害者、子育て支援家庭と地域のボランティアをはじめ地域住民との交流の機会を設定し、福祉情報の提供と人材の発掘・育成を図り、多世代共生の地域づくりを目的として開催する。
浪速区	自転車対策	南海難波駅・なんばパークス周辺は、商業施設の集積化により、多くの放置自転車が見受けられる。そのため地域の企業・地元住民・大阪市関係局・警察署などの関係機関で自転車対策協議会を立ち上げ現地の啓発、指導、整理などの対策事業を実施する。
西淀川区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	駅周辺の放置自転車問題について、地域・鉄道事業者・行政等で構成する「西淀川区自転車対策検討連絡会議」で解決にむけた検討を行いながら、区民と協働して自転車利用適正化にむけた誘導やマナーの啓発を行うとともに、建設局とも連携して放置自転車対策に取り組む。
西淀川区	親子ふれあいフェスティバル	親子のふれあいを大切に、地域コミュニティづくりのためのフェスティバルを開催する。
西淀川区	西淀川区「キラメキ未来塾」	区内の小学校の高学年を対象に、西淀川区の歴史や文化を学び、子ども達が自らの発想により区の将来像・理想像を描く場を提供する。
西淀川区	西淀川区「まちづくり体感フェスタ2008」	区民によるまちづくり・区民と行政との協働によるまちづくりを基本テーマに、各種地域団体のまちづくり活動の発表の場として、また区民によるまちづくり活動のきっかけの場として、区民参加型のまちづくりフェスタを開催する。
西淀川区	西淀川区自然体験教室 2008	「花と緑にあふれるまちづくり」の推進・わがまち西淀川区を再発見するために、大野川緑陰道路から矢倉緑地に至る緑と自然環境に親しむ自然体験教室を開催する。
西淀川区	世代を超えて子育てを応援するまちづくり事業	区とNPOとの協働により子育て支援を推進する。小学校で「いのちの授業」(妊婦・赤ちゃん親子・生徒等の交流授業)を実施、高校で高校生を含むボランティアの協力を得て「みんな集まれ! ファミリーひろば」を開催、子育て層の生の声と子育て支援機関からの情報をひとつにまとめた情報紙を発行する。
淀川区	放置自転車対策推進事業	平成19年度にモデル事業として新大阪・西中島駅で取り組むために立ち上げた自転車対策連絡協議会を継続して取り組むとともに、新たに駅前や商店街が立ち並ぶ十三地区において自転車対策協議会を立ち上げ、当該地域の自転車問題を検討していくため、ソフト面で支援する。
東淀川区	地域活動支援・区民協働についての調査・検討事業	東淀川区の具体的な実態・特性に応じた地域活動支援、区民協働等のあり方について、区民の意識調査や分析・研究を行い、今後の方策を検討する。
東成区	地域活動プラットフォームの基盤づくり事業	地域活動プラットフォームの基盤となるひがしなり市民協働ステーション「ふれ愛パソロジー」の第一次オープン(平成20年3月、区役所1階)後、センターのコアメンバーとしてセンターの運営や地域課題解決に向けたネットワークのコーディネート等を行う人材の育成と、センターを中心に活動するまちづくりボランティア等の区民ネットワーク形成を支援する。
東成区	市民が取り組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の支援事業(4区連携)	平野川流域4区(城東・東成・生野・平野)において、各区の環境景観保全を課題とした地域連携のまちづくり活動の母体となる組織を育成するとともに、学習活動や相互の連携を深めて、河川環境景観保全を主要テーマとするまちづくり活動の広域的ネットワークを育成・支援する。
東成区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	放置自転車問題等は限られた地域から生じる課題であり、地域住民がその対策に参画協働することによる大きな効果が見込まれることから、地域の自転車利用適正化に向けた市民協働型地域協議会の設置とその運営を支援するとともに、局と連携し市民協働による放置自転車の現地啓発・指導及び整理を実施する。

区	事業名	事業概要
生野区	市民が取り組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の支援事業(4区連携)	平野川流域 4 区(城東・東成・生野・平野)において、各区の環境景観保全を課題とした地域連携のまちづくり活動の母体となる組織を育成するとともに、学習活動や相互の連携を深めて、河川環境景観保全を主要テーマとするまちづくり活動の広域的ネットワークを育成・支援する。
生野区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	地域住民を中心とした現地整理事業等を実施するとともに、関係局区との連携のもと、地域との協働により放置自転車問題解決に向け取り組む。
旭区	「城北公園 元気づくり」プロジェクト	旭区の地域資源である城北公園の資源や素材を活用し、「みんなが元気になる取り組み」を実施し、年間を通して城北公園に集客を図り、旭区が元気を取り戻す起爆剤とする。
城東区	市民が取り組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の支援事業(4区連携)	平野川流域 4 区(城東・東成・生野・平野)において、各区の環境景観保全を課題とした地域連携のまちづくり活動の母体となる組織を育成するとともに、学習活動や相互の連携を深めて、河川環境景観保全を主要テーマとするまちづくり活動の広域的ネットワークを育成・支援する。
城東区	城北川アメニティゾーン化計画	城北川が「区民がいつでも憩い・集い・楽しいと感じる親水エリア」「城東区が誇るランドマーク」となるよう、「城北川アメニティゾーン化計画」を策定し、幅広い区民の参画を得て、協働による取り組みを進める。
鶴見区	まちづくりふれあい事業	区民自身による参加型のまちづくりを実施し、コミュニティの輪を広げるために、各種事業を実施する。
阿倍野区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	JR寺田町駅周辺における放置自転車問題の解決策について調査検討を行う。
住之江区	地域活動のプラットフォームの形成と活動支援	住民主体のまちづくりに効果的な話し合いの場として取り組みが行われている「まちづくりフォーラム」の地域版を行うことで、町会を中心とする従来のコミュニティ活動に加えて、ボランティア、NPOなどの参画による住民主体のまちづくりを進めていく契機・機運づくりとする。
住吉区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	地下鉄あびこ駅周辺において深刻な放置自転車問題の解決に向けて、官民協働による「地下鉄あびこ駅周辺放置自転車対策協議会」を運営し、地域住民の理解と協力により問題の解決をめざす。なお、この事業は建設局と10区が参加する「市民協働推進のための自転車利用適正化トライアルプラン」に基づき実施する。
東住吉区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」	10 区役所と建設局による「トライアルプラン」に基づき、近鉄針中野駅周辺の放置自転車問題を区民協働で解決するためのしくみを構築するため、近鉄針中野駅周辺環境美化推進協議会を設置し、行政と地域が一体となって放置自転車問題に取り組む。
東住吉区	地域懇談会事業	地域と行政が地域課題を共有し、解決するための仕組みを構築するため、地域振興会をはじめとする地域団体と、行政連絡調整会議による懇談会を実施。
東住吉区	まち探検くらぶ	公募区民と新たに区役所に配属された職員を対象とし、タウンウォッチングを中心としたワークショップを開催し、まちづくり人材の育成に努める。
平野区	市民が取り組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の支援事業(4区連携)	平野川流域 4 区が中心となり、各区の環境景観保全を課題とした地域連携のまちづくり活動の母体となる組織を育成し、学習活動や相互の連携を深めて、河川環境景観保全を主要テーマとするまちづくり活動の広域的ネットワークを育成・支援する。
平野区	「セカンドライフ創出」事業	「団塊の世代」をはじめとして、セカンドライフ(第2の人生)を迎える方々が、今後急速に加速していく高齢化社会での地域社会の担い手として、まちづくり活動を実践していく高齢者の社会参画のための指針と方向性を示す機会となることをめざす。
平野区	「人・夢・未来」事業	住民自治による「まちづくり」をより社会に浸透させるため、区内において活躍する人物をとらえ、その人物のエピソード等を紹介し、将来を担う人材発掘の引き金となることをめざす。

◎ 地域福祉・健康づくり

(1) 地域福祉関連事業

① 「区地域福祉アクションプラン」推進関連事業【再掲】

区	事業名	事業概要
北区	北区地域福祉アクションプラン推進事業【再掲】	地域住民と行政の協働により北区地域福祉アクションプランを推進する。地域の福祉課題を解決するため、4つのテーマ(①安全・安心なまちづくり②身近な福祉情報の発信③世代間交流や障がい者と健常者の交流、住民同士のあいさつ運動④癒しの提供、ハートのあるまちづくり)について検討し、事業を展開する。
都島区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	「都島区地域福祉アクションプラン」の計画推進にあたり、地域における相談窓口を開設し、広く情報発信を行うとともに、住民懇談会を開催することにより地域課題を共有し、課題解決に向けた支援を行う。
福島区	マンションと地域の架け橋事業【再掲】	地域とマンション住民とが出会い、相互理解を深めることで、将来的に共に支えあえるまちをめざすもので、行政・区社協・地域組織等の協働により、マンションに出向き、子育てサロンや喫茶サロンの開催等を実施することにより、マンションと地域の相互理解を図る。
福島区	障がいに関する啓発事業【再掲】	住民主体である地域福祉アクションプラン推進委員会が、市民とりわけ児童とその保護者に障がいと障がい者のことを理解してもらうために行う事業であり、障がいの有無に関わらずに相互理解を深めることで「共生社会」の実現に寄与しようとするものである。自主制作による紙芝居を小学校や区内ショッピングセンターなどで上演する。
福島区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	平成18年3月に「福島区地域福祉アクションプラン」が制定され、誰もが安心して自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりを推進していくため、「マンションと地域の架け橋事業」「障がいに関する啓発事業」など五つのプロジェクトを立ち上げ、プランの推進に取り組む。
此花区	区地域福祉アクションプラン推進支援事業【再掲】	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、官民協働で取り組む地域福祉アクションプランが円滑に推進できるよう推進委員会の開催や広報・啓発などを行う。
中央区	アクションプラン推進支援事業【再掲】	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、地域での地域・安全・見守りネットワーク事業、子育て支援事業、交流と情報交換の場づくりと情報発信事業等を実施し、公民協働で地域福祉のネットワークづくりを行っていく。
西区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	地域でだれもが、自分らしく安心して暮らしていくために、地域を基盤として広く社会的援護を要する人々を対象とし、地域に携わるすべての人の支え合いにより、地域福祉を推進する。高齢者、障害者、子育ての3つの部会を柱として交流会、講座、イベント等を通じ地域福祉のネットワークを広げる。
港区	港区アクションプラン推進支援事業【再掲】	平成18年度から展開している「花プロジェクト」「マッププロジェクト」のさらなる充実並びに「防災プロジェクト」を本格的に推進し、地域にかかわる人々の支え合いによる事業展開を図っていくことにより、地域福祉に必要なしくみづくりを進めていく。
大正区	アクションプラン推進支援事業(大正区プラットフォーム育成支援事業【再掲】)	買い物中や待ち時間に誰もが気軽に地域情報・福祉情報などが得られるようにするため、店舗や医療機関等の協力を得て専用ラック等に設置し、各種情報を発信していく。 また、区内バス停留所に新たに掲示板を設置し、各地域ごとで管理を行い、情報発信の拠点とする。
大正区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	区や地域の情報を音声で発信する「ハロー大正案内ダイヤル」や子どもたちの交通安全・交通マナーの向上を目的とした「自転車マナーアップ教室」の開催をはじめ、より身近な地域福祉を推進するための「大正区地域福祉計画アクションプラン」の具体事業推進のための支援を行う。
天王寺区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	地域住民の交流と団体間の連携を図り、見守りや支援の充実に向け「子育て愛あいフェスティバル」の開催、お互いを理解し新たな気づきを育む「天王寺愛あいふれまつり」の開催、さらに、障がいのある人への理解を深めるため「ポッチャ(=パラリンピック種目)」大会を開催するなど、福祉のまちづくりに向け公私協働で取り組む。また、人材の育成(「保育ボランティアの養成講座」「地域デビューきっかけ講習会」を開催)や福祉・地域情報の周知・啓発を図る。
浪速区	アクションプラン推進支援事業【再掲】	地域において人と人との繋がりを図るため住民懇談会を開催し、高齢者と若年層との接点をつくり住民同士の交流を深め、お互いに支えあう地域づくりをめざす。

区	事業名	事業概要
西淀川区	地域福祉アクションプラン関連事業【再掲】	公私協働により平成 18 年3月に策定された西淀川区地域福祉アクションプランの推進に対して必要な支援を行い、「気軽にお節介、顔の見えるにしよどがわ」の実現に向けて、①高齢者を日常的に地域の方々で見守る「高齢者 110 番ネット事業」、②アクションプラン塾事業、③障害者支援ネットワーク推進事業を実施する。
淀川区	淀川区アクションプラン推進支援事業【再掲】	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、区推進委員会の開催や広報、啓発を行うなど、公私協働で取り組む地域アクションプランの推進に対し必要な支援を実施する。
東淀川区	区地域福祉アクションプランの推進における、住民主体の福祉のまちづくり支援事業【再掲】	①コミュニティスポットの運営支援事業②住民主体の福祉のまちづくり事業③社会福祉施設と「地域」の交流事業の3つの事業を通し、地域福祉の情報発信、区民の地域福祉への関心を促進することで、「東淀川区アクションプラン」の課題を解決し、区の特性を生かした、住民主体の福祉のまちづくりを支援する。
東淀川区	区地域福祉アクションプラン推進支援事業【再掲】	「地域福祉アクションプラン推進委員会」運営、住民懇談会の開催により、区において公私協働で策定された地域福祉アクションプランの推進に対して必要な支援を行うとともに、広報紙・ホームページを活用し、広く区民に周知・啓発を図る。
東成区	区地域福祉アクションプランの推進に向けた支援(ネットワーク形成支援)【再掲】	区地域福祉アクションプランの推進に向け、情報誌や福祉マップ作成における、区内の子育て支援及び障害者支援情報の収集及び提供を通じて、区内の当事者及び支援グループのネットワーク形成を支援する。
生野区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	地域の誰もが安心して生活できるように、なんでも相談いっしょ〜い・在日韓国朝鮮人外国籍住民・デートDV防止・子ども育皆の4つの推進チームが活動や啓発に努めてきた。「いくのまちづくりフォーラム」に参加し活動報告を行う。
旭区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	緊急時のための「お守りカード」の配付や災害に備えた訓練を通じて近所同士が顔見知りになる「たきだしまつり」、また、しょうがい児・者や家族、支援者が出会い、その輪を広げる「和んで座談会」などの事業とともに、平成 20 年度フロンティア事業として、男性が地域に関わりをもつための第一歩、連続講座「旭しょうぶ大学」、誰もが気軽に集え、相談ができ、情報を得られる場所「あさひあったかきち」事業を展開している。
城東区	城東区地域福祉アクションプラン推進事業【再掲】	地域でだれもが自分らしく安心して暮らしていくために、地域に関わるすべての人の支え合いにより推進していく「城東区地域福祉アクションプラン」(平成 17 年度策定)について住民フォーラムの開催等を通じて一層周知を図るとともに、地域における、その推進に向けた取組みを支援する。
鶴見区	区アクションプラン推進支援事業の実施【再掲】	地域の実情にあった地域福祉を推進するため、公私協働で取り組む地域福祉アクションプランが円滑に推進できるよう推進委員会・各支部会の活動や具体的取組みの支援、広報・啓発などを行う。こども部会では各校下で「子ども防犯教室」を平成 21 年 2 月から順次開催。障がい者部会では平成 20 年 2 月に引き続き、平成 21 年 5 月に「障がい者きらめきスポーツフェスタ」の開催に向けて準備に取り組んでいる。
阿倍野区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、公私協働で取り組む地域福祉アクションプラン(地域福祉行動計画)が円滑に推進できるよう推進委員会の開催や広報・啓発などを行う。
住之江区	区アクションプラン推進【再掲】	地域福祉の推進に必要な仕組みづくりを進めるに、住民懇談会の開催をはじめとした取組みに対して必要な支援を行う。
住吉区	アクションプラン推進支援事業【再掲】	「住んでいて良かった」「ずっと住んでいたいな」と思えるまちづくりをめざして公私協働で取り組む地域福祉アクションプラン推進のために、推進委員会や企画コーディネート委員会、各支部会等を開催する。また、広報・周知を行う。
東住吉区	東住吉区地域福祉アクションプラン推進事業【再掲】	地域福祉アクションプラン推進委員会及び推進支部会の取組みを支援する。「防災」をアクションプラン推進の柱と位置づけ、独自の紙芝居を作成し地域におけるコミュニケーションの輪づくりに活用、また『わたしカード』の普及など各地域で啓発活動を実施する。
平野区	区アクションプラン推進支援事業【再掲】	平野区では、平成 18 年度に地域福祉アクションプランと未来わがまちビジョンが一つとなり「和つしよい！ひらの」を結成した。推進委員会・運営委員会協議により、地域・各種団体・行政等が協働のもと区民が安心して安全に住める、住みよいまちづくりの体制を整えていく。平成 20 年度の具体的な取組みとして地域住民主体で地域が課題の提案・講師依頼・開催業務を行い、3 回の連続講座「おとなの学校」を開講する。また、広報紙・ホームページにより区民に対する周知を行う。

1 各区の主な事業

区	事業名	事業概要
西成区	西成区地域福祉アクションプラン推進支援事業【再掲】	より身近な地域の実情にあった地域福祉を推進するため、公私協働で取り組む地域福祉アクションプランが円滑に推進できるよう推進委員会の開催や広報・啓発などを行う。

② その他の地域福祉関連事業

区	事業名	事業概要
西区	区民の参加と協働で進める地域福祉の応援事業—ふれあい・交流・プラットフォームづくり—	地域の福祉力を再生し、「いつまでも住み続けたい地域福祉の充実したまち」の実現をめざし、文化イベント、まち歩きイベントを実施し、多様な交流の場づくり、地域福祉の担い手づくり、プラットフォームの強化を推進する。
大正区	単身高齢者の地域ボランティアによる見守り支援事業	65歳以上の単身高齢者世帯への地域ボランティアの見守り支援のため、「緊急通報システム」の利用者と協力者の関係を充実させるとともに利用者の拡大を図る。
天王寺区	天王寺愛あいふれあいまつり【再掲】	区全体で支援を必要とする高齢者、障害者、子育て支援家庭と地域のボランティアをはじめ地域住民との交流の機会を設定し、福祉情報の提供と人材の発掘・育成を図り、多世代共生の地域づくりを目的として開催する。
生野区	生野区いきいきふれあい事業	地域で福祉活動を支える方や福祉施設職員等の連携促進を図りながら、高齢者（在日コリアン一世を含む）・障害者の方々がりハビリや生きがいのある生活を楽しむ「元気づけ」を行うため、ふれあい運動会を開催する。
城東区	障害者総合相談会事業	医療・福祉・就労・就学など、障害者ニーズに関係する様々な機関が一同に会し、総合的な相談会を実施、効率的なケアマネジメントを提供する。
城東区	「わたしたちのメッセージ」フェスタ	地域を中心としたコミュニケーションの場として、障害者支援の祭典「ピアフェスタ」、子育て交流の集い「わくわく子育てフェスティバル」を実施する。
城東区	ふれあいまちづくり事業	高齢者・障害者・子育て支援に関して、地域ぐるみの体制づくりを推進するための事業。その啓発活動として各地域のニーズに応じた各種講習会や実技指導を実施する。
城東区	～人 JOTO・友 JOTO・愛 JOTO～区民講演会	生きがいと健康づくりに対する区民の意識の高揚と理解を深めることを目的に、高齢者をはじめとしたすべての区民を対象として「生きがいと健康づくり」をテーマとした区民講演会を実施する。
鶴見区	まちづくりのための地域活動支援事業	誰もが安心していつまでも健康でいきいきと暮らしていけるよう、さまざまな世代の人が交流できるふれあいの場として「いきいきつるみふれあいフェスタ」（仮称）を開催する。
西成区	一人ひとりが安心して暮らせるまち「わがまち西成」つながりづくり・健康づくり事業～共に生きるまちをめざして～	当区では、社会的援護が必要な方が多く、福祉や人権、健康に関する課題が多い。この課題解決に向けて、区民一人ひとりが“互いに認め合い、尊重し合う人間関係の形成＝人と人とのつながり”のため、野宿問題を考えるシンポジウムや、地域のすべての人が参加できるようなイベントに対する補助、そして「あいりん地域」を主とした健康づくり事業を行い、区民の理解とつながりづくり・健康づくりを推進する。

(2) 健康づくり関連事業

区	事業名	事業概要
北区	区民レクリエーション事業	区民レクリエーション大会や体育祭、各種スポーツ大会などを開催することにより、区内各地域におけるスポーツ・レクリエーションに対する多様なニーズに対応し多くの区民にスポーツ・レクリエーションに触れる機会を提供するとともに、継続的なスポーツ活動を提供する。

区	事業名	事業概要
都島区	みやっこみんなで健康づくり事業	子どもから高齢者までライフサイクルにおける生活習慣病の予防に焦点を当て、多くの地域団体が主体となって、「健康づくりのつどい」、「ウォーキング大会」を実施し、また、日常的に健康づくりを進めるため、区民が中心となって作詞・作曲から振り付けを行った「みやっこ体操」の普及活動や「ウォーキングカレンダー」を作成・配布した。
福島区	区民ウォーキング大会	区民の参加を広く募り、区内の名所・旧跡などのポイントをめぐるウォーキング大会を開催し、福島区を再発見・再認識する機会を設けコミュニティ意識を高め、健康の増進を図る。
福島区	区民健康増進事業	参加者自身の体力測定による身体年齢の自覚や、DVDによる福島区の健康づくり体操「ハッピー・フッピー体操」の普及による各家庭での継続的な運動の推進など、区民の健康維持・増進を図る。
天王寺区	「ヘルスアップ教室」	生活習慣病の予防・改善を目的とした「さよならメタボ教室」、介護予防並びに地域での介護予防リーダー養成のための高齢者介護予防指導者養成講座「はつらつシルバー養成講座」修了者を対象にしたもの。自身の健康づくりの継続と地域での健康づくりリーダーの養成を目指して、平成 20 年 9 月から月 1 回開始、体操とウォーキングを中心に事業を展開する
浪速区	ふれあいウォーキング・スタンプラリー事業	区民の健康づくりと「わがまち浪速区の再発見」に役立てるため、区内の旧所名跡をたどるウォーキング・スタンプラリーを開催する。また、ゴール地点の区民センターでは各種模擬店も開催する。
浪速区	地域保健活動事業概要の作成	区における地域保健活動業務について、歴年的に活動結果を整理し、広く市民に対し地域保健事業について現状を明らかにするとともに、課題の整理に処するために作成する。
浪速区	区民健康づくり	区民の一人ひとりの、「健康づくり活動」を推進するため、運動実技、健康情報、交流の場として、「なにわ健康貯筋講座」を開催し、区民の健康増進を支援するための活動を展開する。
淀川区	区民健康づくり推進事業	区民とともに健康づくりを推進するため、身近な地域に健康情報を届ける出張健康講座、“なっ得健康塾”を各地域で開催する。生活習慣病予防や健康増進にむけた事業を実施し、参加者個人の健康づくりを促すとともに、地区組織の協力を得て健康なまちづくりをめざして活動を展開する。また、住民参加のもと区内ウォーキングマップを作成し、ウォーキングを通じた健康づくりを進める。
東淀川区	健康づくり支援・推進事業	「健康づくり区民会議」を中心として幅広い区民及び諸団体が相互に連携・協働し、地域において健康づくりの情報交換や実践等を行い、健康づくりの輪を広げ、区内各地における自発的な取組みを推進するため各種事業を実施する。
東成区	東成区メタボリックシンドローム対策事業	健康増進ボランティアと協働して、各小地域にて住民が自ら健康課題を発見できるような健康教室を開催するとともに、健康習慣を身につけるためにメタボリック予防講座を開催することなどにより、地域の健康への意識の向上を図る。
生野区	(区民とのコラボレーション・生野区のオリジナルティ)いくみん健康体操の普及と啓発事業	「いくみん健康体操」の歌詞のハングル訳、編曲を行い、ビデオ・CDを作製・配布する。また、視覚的な効果が有効な「いくみんキャラ」のイラスト入りＴシャツを指導者に配布し、区内小学校 19 校下への効果的な普及・啓発を展開していく。
城東区	いきいき百歳体操事業	高知市で考案され、介護予防に対する効果が実証されている「いきいき百歳体操」を城東区に取り入れ、住民主体の健康づくりを普及させる。

○ 子育て支援

区	事業名	事業概要
北区	地域におけるふれあい子育て教室・サロンの支援	ふれあい子育て教室・サロンの開催する地域が増えるよう支援するとともに、各教室・サロンがお互いに情報を交換できる場として「地域ふれあい子育てフォーラム」などを開催することで、都心部でも助け合いながら安心して子育てできる機運を高める。
福島区	マンションと地域の架け橋事業【再掲】	地域とマンション住民とが出会い、相互理解を深めることで、将来的に共に支えあえるまちをめざすもので、行政・区社協・地域組織等の協働により、マンションに出向き、子育てサロンや喫茶サロンの開催等を実施することにより、マンションと地域の相互理解を図る。
福島区	区役所新庁舎を活用した子育て支援対策事業	区役所新庁舎を活用し年間を通じて、発達障がい児を抱える親、育児困難感を抱える親への子育て相談などの子育て支援事業を行う。
此花区	此花まちづくりワークショップ ～次世代を担う子どもたちのために何ができるかを考える～	「子供会、PTA、青少年育成協議会」などを中心に地域の子どもの問題について考え、イベント「キッズカーニバルこのはなとーまれ」を企画・実施してきた。平成 20 年度においては、「キッズカーニバル」の継続と各団体がより協力し合い活動できるよう支援を行う。
此花区	まちづくり能力開発セミナー事業（カエルクラブ）【再掲】	平成 20 年度においては、「このはなカエルクラブ」をさらに充実・発展させ、これまで育ててきたまちづくりの芽を成長させるとともに、まちづくり事業の“質（内容）”の向上をめざし、まちづくりを中心となつてマネジメントのできる人材を養成することを目的とする。 また、セミナーの成果を生かし、子ども対象のおもちゃの物々交換プログラム「かえっこバザール」に「防災・防犯」「環境問題」「他世代交流」などのテーマを合体させた、子ども達が楽しく参加できる独創性のある地域貢献型「かえっこバザール」を区民対象に開催する。
中央区	『安心して子どもを産み育てる事ができる街づくり』事業	子育て支援者養成講座を開催し、地域福祉の担い手を養成するとともに、地域応援団を立ち上げ、地域の自主的な運営による子育て家庭の支援を推進する。また、イベントを通じて子育て支援を地域社会全体で行うという機運を高める。
港区	遊び創造館	ものづくりや実体験を通した子どもの創造力育成をテーマとして、工作、国際交流、芸術文化などのブースを設置する。地域のコミュニティスタッフ（地域住民によるボランティア）、NPO、区コミュニティ協会、行政がそれぞれの立場で連携・協力して、子どもと地域の大人のふれあいを通して地域コミュニティの育成を図る。
天王寺区	みんなで子育て親育て～地域で育つ地域の子ども推進事業	児童虐待・いじめ・不登校などの防止のため、子どもや子育て家庭を対象に、行政、学校園、関係団体、地域との協働により、子育て支援の拡充として、「親育て（ち）講座」、また、地域住民、多世代交流を推進し地域の見守り支援活動の拡充に向け、「みんなで子育て応援まちづくり」を開催。さらに、「ジュニアクラブの育成活動」を拡充、推進する。
浪速区	浪速区子育て支援事業	育児不安の軽減を図るため「子育て講座」を実施し、その参加者が中心となり「親子フェスタ」の開催や子育て支援情報（冊子）の作成に携わる中で、親同士の連携を深める「子育てサークル」の結成につなげる。
浪速区	浪速子ども球技大会	スポーツを通じて児童・生徒の健全育成を図り、「人権啓発」「人権教育」「自己実現」を基調とした仲間づくりを行い、区内の児童・生徒・保護者の交流を深め地域コミュニティの形成を図る。
西淀川区	乳幼児対象絵本展	区内市立施設で、乳幼児対象の絵本展を実施し、同時に子育て支援に関する情報提供、及び子育てサロン、サークル、グループの活動発表を行い、また、実施に先だち、運営ボランティアを公募し、子育て支援にかかわる人材の発掘や育成を図る。
西淀川区	世代を超えて子育てを応援するまちづくり事業【再掲】	区とNPOとの協働により子育て支援を推進する。小学校で「いのちの授業」（妊婦・赤ちゃん親子・生徒等の交流授業）を実施、高校で高校生を含むボランティアの協力を得て「みんな集まれ！ファミリーひろば」を開催、子育て層の生の声と子育て支援機関からの情報をひとつにまとめた情報紙を発行する。
西淀川区	親子ふれあいフェスティバル【再掲】	親子のふれあいを大切に、地域コミュニティづくりのためのフェスティバルを開催する。
西淀川区	西淀川区「キラメキ未来塾」【再掲】	区内の小学校の高学年を対象に、西淀川区の歴史や文化を学び、子ども達が自らの発想により区の将来像・理想像を描く場を提供する。

区	事業名	事業概要
淀川区	MY TREE ペアレ ンプログラム	子育てに悩み、子どもをたいてしまうなど、子どもにダメージを与えてしまっているのではと苦しんでいる親たちに、「まなぶワーク」と「自分を語るトーク」を通じて、子どもとの関係を変えていくことを支援する。
淀川区	一時保育ボランティア 講習会	核家族・少子化時代にあつて、子育てに悩む母親の子育て支援を目的とするボランティアのための講習会を子ども・子育てプラザと共催で開催する。
東淀川区	子育てサロン連絡会支 援事業	地域で子育て支援活動を行っている「子育てサロン」を中心として、ボランティアグループ、学校園、民生委員児童委員連盟等の関係機関・団体が相互に連携・協働した地域活動を展開することにより、地域における子育て支援の輪を一層広げ、区内の子育て支援ネットワークの構築をめざす。
東成区	子育て支援情報の総 合化（いじめ対策モデ ル事業）	学校・地域・家庭が連携した子育て支援のための連絡会を立ち上げ、その活動モデル開発や連絡会の運営支援を、専門のノウハウを有する大学と連携して実施する。また、子ども達が自分を取り巻く環境をどのように考えており、何を求めているか、子どもの本音を探る取組みを行うとともに、おとな向け・子ども向けの啓発活動等を実施する。
生野区	子育て支援ネットワ ーク（いくみん子育て支援 ネットワーク）活性化事 業	子育て支援ネットワークの強化・充実を図るとともに、区民との協働作業により地域の人が知りたい子育てに関するサービス、相談窓口、施設等の情報を網羅した詳細な「子育ての総合情報マップ」を作成する。
城東区	「わたしたちのメッセ ージ」フェスタ【再掲】	地域を中心としたコミュニケーションの場として、障害者支援の祭典「ピアフェスタ」、子育て交流の集い「わくわく子育てフェスティバル」を実施する。
城東区	ふれあいまちづくり事業 【再掲】	高齢者・障害者・子育て支援に関して、地域ぐるみの体制づくりを推進するための事業。その啓発活動として各地域のニーズに応じた各種講習会や実技指導を実施する。
鶴見区	つるみ子育て支援まち づくり事業	子育てをする親の負担感の解消のため、区内で子育てボランティアの人材発掘・育成を行い、地域での子育てアドバイス等の助言・情報提供ができる体制を構築する。また、区内の公立・私立を問わず、保育所、幼稚園、行政機関等の間で子育て支援ネットワークの構築を行う。
鶴見区	安心して子育てをする ためのまちづくり推進事 業	鶴見区内の子育て活動を行う各種団体と関係行政機関が子育て支援のために協働して、「愛 Love こどもフェスタ」を開催し、安心して子育てをするためのまちづくりを推進する。
鶴見区	ボランティアによる一時 的（ひととき）保育サー ビス	保健福祉センター・区民センターで実施する検診等において、同伴した乳幼児を一時的（ひととき）保育するサービスをボランティアによって行う。
阿倍野区	子育て支援事業	少子化・核家族化の進むなか母親や家族だけでなく地域ぐるみで子育てする仕組みづくりが求められている。そのため、乳幼児とその保護者への支援を行うとともに仲間作りをサポートし、とりまく支援者へのスキルアップとネットワーク作りを支援する。
平野区	子育て担い手を創出 するまちづくり事業	子育て中の親子が集える場や地域の子育て支援関係者などが子育て支援に利用できる場の提供、子育て支援を担う人材の育成、子育て相談、子育てに関する提供情報の充実などの環境整備に取り組むとともに、「子育て応援講座」を地域の子育て支援グループと協働で実施、グループのスキルアップを図るなど、地域と連携した子育て支援の充実をめざす。20 年度の具体的な取組みとしては「子育て応援講座」35 講座開講、「親子ひろば」を毎月 2 回開設、第 2 回「子育てフェスタ」を開催、地域共生サロンのモデルサロンを 3 月に開設する。

○ 防災

区	事業名	事業概要
各区	防災訓練	地震災害、風水害等の広域複合災害が発生した場合を想定し、防災関係機関及び市民等が一体となって総合的な訓練を実施し、災害時における応急対策の連携強化、防災意識の高揚を図る。
各区	地域防災リーダーの育成	地域防災活動の中心的役割を担う地域防災リーダーを育成するための隊員装備品の整備や研修の実施。
各区	地域防災活動の支援事業	大規模災害時に備えて必要な備蓄物資を収容避難所に配備するなど、地域における防災活動を支援するとともに、地域住民との協働による地域防災マップや防災計画の支援等を行う。
都島区	地域の防災力向上のためのワークショップ	各小学校区単位で図上訓練やまち歩きをはじめとするワークショップを実施し、住民自身が地域の特性や防災上の課題を発見・検討する。
都島区	大規模災害時における協力事業所登録制度	地域の防災力を向上させるため、区内に所在する事業所の協力を得て、大規模災害時に被災者の救出・救護活動を円滑に行えるよう、登録事業所を募集する。
福島区	高齢者・障がい者を対象とした避難所運営対策事業	近い将来に東南海・南海地震の発生が予想されており、災害時に避難所の運営に当たって、高齢者や障がい者などの災害時要援護者と言われている人々の避難所生活、対応についてマニュアル作りを行う。
福島区	中学校防災体験学習	中学生を対象に大規模災害時に自分や家族をはじめ、地域を守るための初歩的な防災技術を習得し、いざという時に地域防災リーダー等とともに消火、救出活動など地域防災の担い手となれるよう体験学習を実施する。
此花区	区民参加で広めよう！各地域の防災への取り組み	平成 16 年度から防災ワークショップで制作された「わが家の防災マップ」が、平成 18 年度に全地域分が完成し全戸配布した。各小学校区や連合単位で防災マップを活用した図上訓練を実施することにより、防災について学習し、防災意識の向上を図る。
港区	地域住民と協働による津波に対する一時避難マップの作成および配布	近い将来に発生が予測される海溝型地震による津波に対し、三方を海と川に囲まれた港区の住民が津波の到達前に近隣の3階建以上の頑丈な建物に一時避難するため、平成 20 年度は築港地区で町会役員が当該建物を調査して所有者と協定書を交わし、その情報をマップに記載して地域住民や事業所等に配布する。
大正区	地域防災力の向上をめざすまちづくり支援事業（大正区プラットフォーム育成支援事業【再掲】）	各戸に配付済みの「安心安全マップ」や「大正区版津波対策ビデオ」を活用しながら地域防災リーダーや町会を対象に、地域ごとの講習会「災害図上訓練」（DIG）及び地域ごとの「避難訓練」を実施し、地域防災力の一層の向上をめざす。
天王寺区	地震対策一区民協働で作る「その一瞬を生き残るための知恵」	大地震が起きたときに、自宅でたんすや本棚に押しつぶされことなく自分自身が生き延びることを地域における相互の救援活動や災害復興の出発点と位置づけ、区民協働の取り組みで地域防災力の向上を図る。
浪速区	災害時要援護者を支援する体制の確立	災害時に要援護者を地域が主体となって支援する体制の確立に向けて、地域における防災意識の向上と体制確立に向けた機運の醸成を目的として、その重要性や必要性、具体的な手法等について、地域住民に対してワークショップを開催する。
西淀川区	住民向け災害図上訓練（DIG）	地域防災リーダーを中心とした地域役員等を対象に災害図上訓練（DIG）を実施。さらに、当該訓練を終了した地域において、自分の住んでいる地域を防災の視点で見て歩く（まち歩きDIG）など、防災に対する機運を高め、地域防災能力の向上を図る。
淀川区	地域別災害図上訓練と避難所開設訓練事業	東南海・南海地震が起ることを想定し、地域住民自らが避難所の開設・運営にかかる様々な課題について、住民参加で討議を行う。連合町会・地域防災リーダーと地域住民に自助・共助の意識向上を図る。
東淀川区	区民協働による地域防災力向上支援事業	災害に備え区民自らが参画し、協働してわが町マップを中心とした防災手帳を作成するとともに、これを活用して地域で自主的な訓練を実施することにより、地域における災害対応能力の向上を図る。

区	事業名	事業概要
東成区	地域防災力向上の支援	①地域防災リーダー・若年層・転入者・在勤者などを対象に防災講座を開講し、広く人材を育成する。 ②各校下ごとに、①の受講者も参加する地域主体の避難所開設訓練を実施する。また、避難所運営マニュアルを作成する。 ③多くの住民の防災意識の向上を図るため、町会単位のワークショップを開催する。 ④消防署、中学校の協力を得て、中学生の防災教育を実施し、防災に対する関心を高める。
生野区	地域防災体制の確立及び防災手帳の作成事業	図上訓練の企画立案及び防災マップ・防災手帳の作成に地域住民自身が直接参加することにより、防災意識の向上と地域防災組織の活性化をめざす。
旭区	自助・共助を基本とする地域災害体制の確立	平成 19 年度作成の地域防災便利帳・防災マップを活用し、地域防災対策の検討を行い、住民のニーズを反映した「地域防災マニュアル」を作成する。また、民間企業と災害発生時の協力体制を構築することなどにより、地域災害体制の確立を図る。
城東区	地域防災を担う若年層の育成	区内中学生を対象に地域防災訓練に参加してもらい、地域防災としての一翼を担う人材を育成する。
阿倍野区	地域防災力向上支援事業	区内各連合における防災ワークショップの継続及び発展を図り、地域防災計画・防災ハンドブックを基に災害時の対応力の向上に努める。併せて地域が自主的に防災力形成にかかる企画運営に資することを目的とした支援を行う。「阿倍野区防災データマップ」について、区内の現状を実地調査することで地域への情報提供や更新作業を行う。
住之江区	防災手引き書を活用し区内各地域各階層ごとに行う防災学習・啓発事業	防災手引き書を活用し、地域の事情に応じた話し合いや災害時に支援が必要な人に焦点を当てた啓発活動を行う。
東住吉区	災害時における要援護者避難誘導ネットワーク創造事業	大規模災害時に、「要援護者」を地域住民の共助により避難誘導するためのネットワークを地域住民との協働により構築する。
西成区	災害時要援護者支援計画検討事業	西成区役所、西成消防署及び西成区社会福祉協議会が組織横断的に立ち上げた「西成区緊急時支援検討委員会」をもとに、災害時に自力避難が困難または不安を抱いている住民を把握し、救命救助や避難誘導等に役立て、地域に情報を提供しながらより効率的な避難・救助体制などの確立を図る。

○ 防犯・安全安心のまちづくり

区	事業名	事業概要
北区	放置自転車啓発・指導用エフ取付事業	道路通行を阻害し、交通事故ならびにまちの環境悪化の一因ともなる放置自転車対策のため、啓発・指導用エフを作成し放置自転車に取り付けるとともに啓発・指導を行う。
都島区	京橋地域の安全なまちづくり事業【再掲】	安全で快適に通行できる活気と賑わいのある京橋地域のまちづくりを進めるため、地域住民や商店街、企業、関係行政機関による協議会を設立し、「道路へのはみ出し営業」、「放置自転車」、「ごみのポイ捨て」、「路上喫煙」などの解消を目指して活動している。
西区	通学路周辺における落書き対策	通学路周辺の落書きにおいては、児童生徒に悪影響を与え、落書きや環境に対する意識の低下を招き、また落書きの放置は住民の目が行き届いていないと見られ犯罪につながる治安環境の悪化を招く。そのため子どもが安全に通学できる環境づくりに向け、通学路の落書き対策を実施する。
港区	自転車利用適正化事業【再掲】	港区わがまちフォーラムによる自転車のマナーアップ講習会や自転車マップの作成などの活動を支援し、環境にやさしい移動手段であり健康の維持にも役立つ自転車の利用を促進する。
大正区	安全サポート隊活動支援事業（大正区プラットフォーム育成支援事業【再掲】）	こどもの見守り活動を行う安全サポート隊について、区広報紙特集号で、区内全域への周知とサポート隊への積極的な区民参加を促進する。また、区民への啓発を進めていくことにより、子どもへの声かけ・痴漢等の事件発生の未然防止を図る。
浪速区	安全・安心なまちづくり推進事業	住みよい明るいまちづくりを推進するため、「浪速区民運動推進大会」を開催し、地域の実践活動の発表交流を行い、意見交換をする中で「安全・安心のまちづくり」につなげ、区民の誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことのできる犯罪のないまちづくりに向けた活動を推進する。
西淀川区	地域主体の子ども見守り活動支援事業「子ども見守り活動たいDIG」	地域安全学会の指導のもと、保護者、子どもたちや地域の方々、学校関係者などが一堂に会して、ワークショップ形式による図上訓練（DIG）やフィールドワークを行いながら、見守り体制の構築を目指します。さらに公私協働により校区単位のハザードマップを作ります。
淀川区	セーフティ講座	地域安全対策職員による子ども（保育児・園児）対象の出前講座（パワーポイントを使った紙芝居と着ぐるみによる〇×クイズ）を実施。
淀川区	地域安全マップ下敷の作成配布	各小学校下ごとの安全マップを下敷きにプリントし、新入生に配布する。
東淀川区	『地域と協働のわがまち安全安心活動』支援事業	区で実施されている安全安心の事業を横断的に連携し、区民・地域との対等なパートナーシップにより協働して、安全安心ですみよいまちづくりを進める。【①安全安心探検隊（子供と大人のまち歩き・ワークショップによるマップづくり）②安全安心塾（体験型学習）③安全安心こども教室（幼稚園・保育所・小学校を対象）④安全安心情報局（広報啓発）事業】
生野区	地域安全対策推進事業	子どもの事件・事故ゼロをめざし、子ども達や地域を守る「大人たちの輪」である「いくみんパトロールバンド」事業を展開するなど、地域の安全について住民と行政が連携して取り組む。また、地域の安全を呼びかける啓発絵本・紙芝居を作成し、実施することによって地域での啓発活動に役立てる。
鶴見区	安心安全まちづくり推進事業	児童・生徒に対する犯罪事象が増加する中、より一層安心安全なまちづくりの機運を高めるため、「安心安全まちづくりセミナー」を開催し、「青色防犯パトロール隊」などの地域活動を支援する。
阿倍野区	地域安全対策プロジェクト	区役所を拠点とした地域の安全対策の体制を強化し、地域の安全巡視・点検・指導・啓発等を行い、犯罪・事故等の未然防止・抑止、さらには地域の環境改善に努める。 また、市民や地域の団体等との連携を図りながら、地域の安全対策に取り組むほか、地域ニーズや地域の特性により生じる課題に取り組む。
東住吉区	レンタカーによる地域防犯パトロール事業	小学校等の登下校時の巡回や、引ったくり防止等の啓発を広域的且つ効果的に行うため、軽自動車（レンタカー）による地域防犯パトロールを実施。
西成区	「安心・安全マップ」作成事業～みんなで考える地域づくり～	安心・安全に暮らせるまちづくりの推進のため地域（連合振興町会単位）の様々な人が参加した「住民懇談会」を開催し、「安全・安心マップ」づくりを通じて、地域課題の解決に向けた自主的な取り組みへと発展させることを目標とする。

○ 駐輪対策

区	事業名	事業概要
北区	区民と取り組む自転車対策検討モデル事業	放置自転車問題の解決にあたっては、地域住民と共に継続して取り組みを進めることが重要であることから、区民が自主的に行う放置自転車対策を支援し、問題の解決に向けての取り組みの推進を図る。
都島区	京橋地域の安全なまちづくり事業【再掲】	安全で快適に通行できる活気と賑わいのある京橋地域のまちづくりを進めるため、地域住民や商店街、企業、関係行政機関による協議会を設立し、「道路へのはみ出し営業」、「放置自転車」、「ごみのポイ捨て」「路上喫煙」などの解消を目指して活動している。
福島区	区民との協働による放置自転車対策事業【再掲】	従来より区放置自転車対策協議会により啓発活動を実施しているが、依然として区内主要駅には慢性的に自転車が放置されている。今後、駅周辺における自転車利用実態調査を実施し、課題の分析を図るとともに、区民との協働による放置自転車追放に取り組み、自転車利用のマナー向上をめざす。
此花区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	自転車利用の増加による路上放置が問題となっている。「安全できれいな駅前やまちに！！」をテーマに地域住民を主体として参加型の放置自転車対策を進める。
中央区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	放置自転車が多い地下鉄駅周辺で、自転車利用者の属性や、自転車が放置される理由などを調査する。その結果に基づき市民と関係行政機関の代表で構成される協議会で個別具体的な対策を検討し、その対策を区民と協働で実施する。
大正区	自転車対策活動支援事業（自転車利用適正化事業「トライアルプラン」）（大正区プラットフォーム育成支援事業【再掲】）	広報紙特集号による活動周知や啓発用ステッカー活動及び地域、警察、関係行政機関一体となった「放置自転車対策官民一斉行動」で、大正駅前での放置自転車の減少を図る。また、アクションプラン部会での子ども自転車免許証事業を継続し、マナーアップ、モラルの向上を図っていく。
天王寺区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	自転車利用の適正化に向け市民との協働により各種活動に取り組む①地域住民との協働による自転車の現地啓発 ②自転車の適正利用に向けた地域住民との協働を進めるための協議会等の設置・運営 ③自転車利用の実態調査（平成19年度の調査の補完）④地域との協働による自転車適正利用マップ及び自転車利用ルールブック等の作成 ⑤児童への自転車免許講習会の実施及び自転車免許証の発行。
浪速区	自転車対策【再掲】	南海難波駅・なんばパークス周辺は、商業施設の集積化により、多くの放置自転車が見受けられる。そのため地域の企業・地元住民・大阪市関係局・警察署などの関係機関で自転車対策協議会を立ち上げ現地の啓発、指導、整理などの対策事業を実施する。
西淀川区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	駅周辺の放置自転車問題について、地域・鉄道事業者・行政等で構成する「西淀川区自転車対策検討連絡会議」で解決にむけた検討を行いながら、区民と協働して自転車利用適正化にむけた誘導やマナーの啓発を行うとともに、建設局とも連携して放置自転車対策に取り組む。
淀川区	放置自転車対策推進事業【再掲】	平成19年度にモデル事業として新大阪・西中島駅で取り組むために立ち上げた自転車対策連絡協議会を継続して取り組むとともに、新たに駅前や商店街が立ち並ぶ十三地区において自転車対策協議会を立ち上げ、当該地域の自転車問題を検討していくため、ソフト面で支援する。
東成区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	放置自転車問題等は限られた地域から生じる課題であり、地域住民がその対策に参画協働することによる大きな効果が見込まれることから、地域の自転車利用適正化に向けた市民協働型地域協議会の設置とその運営を支援するとともに、局と連携し市民協働による放置自転車の現地啓発・指導及び整理を実施する。
生野区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	地域住民を中心とした現地整理事業等を実施するとともに、関係局区との連携のもと、地域との協働により放置自転車問題解決に向け取り組む。
阿倍野区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	J R寺田町駅周辺における放置自転車問題の解決策について調査検討を行う。
住吉区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	地下鉄あびこ駅周辺において深刻な放置自転車問題の解決に向けて、官民協働による「地下鉄あびこ駅周辺放置自転車対策協議会」を運営し、地域住民の理解と協力により問題の解決をめざす。なお、この事業は11所属が参加する「市民協働推進のための自転車利用適正化トライアルプラン」に基づき実施する。
東住吉区	自転車利用適正化事業「トライアルプラン」【再掲】	10区役所と建設局による「トライアルプラン」に基づき、近鉄針中野駅周辺の放置自転車問題を区民協働で解決するためのしくみを構築するため、近鉄針中野駅周辺環境美化推進協議会を設置し、行政と地域が一体となって放置自転車問題に取り組む。

○ 環境保全

区	事業名	事業概要
都島区	子どもたちの都島クリーン作戦	小・中学生が毛馬桜之宮公園をはじめとした区内公園を一斉清掃することによって、環境美化や自然を愛する心を育む。
福島区	リサイクル・環境フェア	区民にフリーマーケットの出店を募集するとともに、環境局の協力でごみ分別クイズやリサイクル工作教室などを企画し、家庭から出る普通ごみ、粗大ごみの減量や、資源の再利用の大切さを区民自ら学習する機会とする。
福島区	打ち水大作戦	区民に広く「打ち水」を働きかけ、市民、事業者等と協働して「福島区打ち水大作戦」を実施し、ヒートアイランド現象の緩和と地域での新たなコミュニティづくりを行う。
此花区	此花区エコアクション・プロジェクト【再掲】	此花区まちづくり会議を中心として、区民・地域・区内商店街・行政の協働により、打ち水やマイバッグ運動など身近にできる行動を通じて環境にやさしい生活実践をめざし区民を巻き込んだ運動に取り組む。
淀川区	親子ネイチャースクール	十三干潟での水生生物観察会や、河川敷に棲む昆虫観察を行い、あわせて川との接し方や自然を守ることの大切さを学ぶ学習会を親子対象に行う。
淀川区	淀川をテーマとした流域交流創造事業	淀川区内で川や水をテーマに活動する区民・グループを中心に参加をよびかけ、意見交換・交流の場を展開する。また、琵琶湖・淀川の魅力や、流域の取組みを広くPRする場として、流域交流イベントを開催する。
淀川区	子どもエコキャンプ	区民・区内NPOと協働して、環境問題について考えるきっかけづくりに、区内の子どもたちを対象に海がめの産卵地でのキャンプを実施する。
東成区	市民が取組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の支援事業（4区連携）【再掲】	平野川流域 4区（城東・東成・生野・平野）において、各区の環境景観保全を課題とした地域連携のまちづくり活動の母体となる組織を育成するとともに、学習活動や相互の連携を深めて、河川環境景観保全を主要テーマとするまちづくり活動の広域的ネットワークを育成・支援する。
東成区	地域と自然環境の集い事業	区内の公園を活用し、自然観察・自然工作などの体験型事業を実施することで、自分たちの住んでいるまちの自然環境について考えてもらう機会とするとともに、子どもたちの出会いを通じて、子育て世代のネットワークの形成をめざす。
生野区	市民が取組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の支援事業（4区連携）【再掲】	平野川流域 4区（城東・東成・生野・平野）において、各区の環境景観保全を課題とした地域連携のまちづくり活動の母体となる組織を育成するとともに、学習活動や相互の連携を深めて、河川環境景観保全を主要テーマとするまちづくり活動の広域的ネットワークを育成・支援する。
旭区	商店街の空き店舗を活用した文化講習会事業	商店街の空き店舗等を活用し、定期的に関心のあるテーマとした講習会を開催する。買い物の途中で気軽に参加できる講習会を開催することで、商店街への集客を図る。
城東区	市民が取組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の支援事業（4区連携）【再掲】	平野川流域 4区（城東・東成・生野・平野）において、各区の環境景観保全を課題とした地域連携のまちづくり活動の母体となる組織を育成するとともに、学習活動や相互の連携を深めて、河川環境景観保全を主要テーマとするまちづくり活動の広域的ネットワークを育成・支援する。
鶴見区	自然環境育成事業	かつての美しく潤いのあったまちに存在していたホタルを区民が育成し、自然を守り愛する感性を醸成するための事業を実施する。
住之江区	地域ぐるみの環境保全・美化活動事業	区民が地球環境問題を自分自身の問題と捉え循環型社会をめざすための取組みとしてスミノエコロジーを開催し、環境に対する理解・協力を求める。
住吉区	すみよし環境区民会議事業	大和川や万代池等の自然環境保全や地球温暖化防止に取り組むグループや個人が、ネットワークを広げるにより、区民全体の環境意識の向上を図るとともに、住吉区の豊かな自然環境を区民と協働で保全し次代に継承していく。
平野区	市民が取組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の支援事業（4区連携）【再掲】	平野川流域 4区が中心となり、各区の環境景観保全を課題とした地域連携のまちづくり活動の母体となる組織を育成し、学習活動や相互の連携を深めて、河川環境景観保全を主要テーマとするまちづくり活動の広域的ネットワークを育成・支援する。

○ 美化推進

区	事業名	事業概要
北区	庁舎周辺の清掃と自転車の整理整頓のとりくみ	来庁される市民の迷惑となっている区役所前広場の通勤・通学自転車を、早朝からボランティア職員による整理整頓と庁舎周辺の清掃を行い、安全で美しい区庁舎と庁舎周辺をめざす。
都島区	都島区未来わがまちビジョン推進事業（大川かたづけ隊）	「都島区未来わがまちビジョン推進会議」が中心となって発足、毎月第3土曜日に大川沿いの毛馬桜之宮公園の清掃活動を行っている。一般参加の区民や各種団体を巻き込んだ活動に発展している。
都島区	子どもたちの都島クリーン作戦【再掲】	小・中学生が毛馬桜之宮公園をはじめとした区内公園を一斉清掃することによって、環境美化や自然を愛する心を育む。
此花区	此花区エコアクション・プロジェクト【再掲】	此花区まちづくり会議を中心として、区民・地域・区内商店街・行政の協働により、打ち水やマイバッグ運動など身近にできる行動を通じて環境にやさしい生活実践をめざし区民を巻き込んだ運動に取り組む。
中央区	環境浄化事業【再掲】	区民とともに、道路美化や違法看板の撤去指導、ごみの不法投棄対策等、環境浄化に取り組む強化月間を創設し、集中して広報啓発活動を実施する。また、橋梁等の清掃などを区民と協働で実施し、事業終了後も区民が自主的に取り組める仕組みの形成を図る。
西区	通学路周辺における落書き対策【再掲】	通学路周辺の落書きにおいては、児童生徒に悪影響を与え、落書きや環境に対する意識の低下を招き、また落書きの放置は住民の目が行き届いていないと見られ犯罪につながる治安環境の悪化を招く。そのため子どもが安全に通学できる環境づくりに向け、通学路の落書き対策を実施する。
浪速区	区民との協働による区内の落書き一斉消去【再掲】	地域住民、企業、官公署、ボランティアなどが一同に集まり、「“なにわ落書き一掃デー”」として区内全域で落書き一斉消去運動を展開する。
浪速区	ウォールペインティング事業	まちが明るく楽しい憩いの場として再生が図られるとともに落書き抑止にもなるウォールペインティングを浪速区で公募した学生らが、特に落書きの多発しやすい高架下の壁面に施す。
西淀川区	西淀川区民のまちづくり支援事業「未来わがまちビジョンの推進」【再掲】	「西淀川区未来わがまちビジョン」が示す西淀川区の将来像「住みやすいまち西淀川区」の実現にむけて、区民自らが主体的に、あるいは行政と協働して取り組むまちづくり活動を支援する。具体的活動として、①大野川緑陰道路(3.8km)全域を地域や各種団体と連携して年4回(春夏秋冬)一斉に「グリーン大作戦」を実施する。②区内の公園等に地域・緑化リーダーと協働して花壇づくりを行う。③区の歴史文化的資源を掘り起こし「西淀川お宝100選」を作成する。④食文化の視点からまちの歴史・文化を発見し次世代に伝える取り組みを行う。
淀川区	淀川区未来わがまちビジョン推進委員会「神崎川ウォーク」	淀川区未来わがまちビジョン推進委員会～環境・防災・安全グループ～により、神崎川の堤防から河川敷に向け捨てられたごみを拾いながら歩く「神崎川ウォーク」を実施する。
鶴見区	「鶴見区未来わがまち推進会議」運営並びに活動支援【再掲】	「鶴見区未来わがまちビジョン」の実現に向け、「鶴見区未来わがまち推進会議」において、区民が主体となり活動内容を議論し、水路清掃活動などの実践活動を実施している。そのような活動がさらに発展するよう支援を行う。
住之江区	地域ぐるみの環境保全・美化活動事業【再掲】	区民が地球環境問題を自分自身の問題と捉え循環型社会をめざすための取り組みとしてスミノエコロジーを開催し、環境に対する理解・協力を求める。
住吉区	大和川右岸河川敷（山之内地区内）草刈及び清掃事業	大和川右岸山之内地区の河川敷は市内でも数少ない自然の砂洲が残っているが、大量に繁茂している葦の間にゴミが堆積し危険なため、葦の伐採を行うとともに、地元住民を中心に清掃活動を実施する。
東住吉区	地域美化・環境クリーンアップ作戦	クリーンおおさか2008と連携し、区内全域で町会等による門前清掃を実施する。また、長居公園内において出陣式及び幹線道路清掃を行い、区民の手でまちを美しくする取り組みを行う。
東住吉区	大和川クリーン作戦	大和川への愛着を喚起し、環境問題を考える機会を作るため、国土交通省主催の「大和川クリーン作戦」に区役所と地域で参加し、地域住民と協働で河川清掃を行う。
東住吉区	矢田ナリエの開催	地域協働による矢田地域の環境美化の推進を目的に、近鉄矢田駅高架下に光のイルミネーションを設置し、イベントを実施する。

○ 緑化推進

区	事業名	事業概要
北区	花と緑のまちづくり推進事業	「山野草の寄せ植え講習会」や「苔玉づくり教室」の開催、緑化リーダーを中心としたボランティアによる区役所前庭「区民ガーデン」での緑化事業に取り組み、緑あふれるまちづくりを推進する。
福島区	花と緑で飾ろう運動事業	緑化リーダーを中心にガーデニング講習会を開催し、また、ふれあい花壇の手入れを通じ、花と緑のまちづくり運動を区のレベルで展開し、花と緑あふれる美しい町並み、環境づくりを推進する。
此花区	花と緑のまちづくり「此花区グリーンフェスタ」	緑化意識の高揚、緑化に関する知識の普及等を図り、緑豊かな潤いのあるまちづくりとコミュニティづくりを図る。また、区役所庁舎前の「花壇」や「フレタスガーデニング正蓮寺川」を、広く区民にPRすることにより、各地域の「拠点」づくりへと活動を広げていく。
西区	種から育てる地域の花づくり支援事業	本市が進める市民協働による花と緑のまちづくりを、今後より効率的・効果的に推進していくために、従来のように行政が提供した花苗を市民が植えつけるのではなく、「種から育てる」という発想で、住民自ら花苗を育て、公園や街路をはじめ、まちなかに花を植え、世話をするという市民主体の花飾りへの転換を図る。
西区	花と緑のフェスティバル事業	花と緑にあふれゆとりと潤いあるまちづくりを推進するため、「花と緑のフェスティバル」を区民と協働で実施。
港区	種から育てる地域の花づくり支援事業	区民ボランティアの手により「種を蒔き、苗づくりをする」ことから活動を始め、花苗は公園や学校等の公共空間に植え、花とみどりにあふれた潤いのあるまちづくりを進めるとともに、花づくりを通して、年齢や地域の垣根を越えた人たちの交流等地域活動の活性化により地域コミュニティの醸成を図る。
港区	まちかどガーデナー事業	市民協働の取組みとして、「まちかどガーデナー」として認定する制度を新たに作る。とともに、「まちかど花マップ」を作成し、花と緑に対する区民の関心を高めていくとともに、区内の緑化推進さらには地域コミュニティ力の向上を図る。
港区	区の花ひまわりキャンペーン	区の花制定 20 周年を迎え、区の花ひまわりのデザイン募集や年間を通じてひまわりに関するイベントなどを実施する。ひまわりをまちづくり活動のシンボルに据え、区民がひまわりを通じてわがまち「みなと」への愛着を深め連帯感を育むとともに、港区の新たなイメージづくりにつなげる。
大正区	種から育てる地域の花づくり支援事業	平成 19 年度に完成した花づくり広場において、緑化リーダーやグリーンコーディネーターを中心に、募集した花づくりボランティアとともに、様々な種類の花を種植えから行い、育成した花を各地域の公共スペースに設置する等、緑あふれるまちづくりを推進する。
大正区	緑化推進事業	自然と共生する美しい、感性あふれる大阪のまちの実現に向けて、花づくり講習会、施設見学などを開催し、緑化リーダーの活動促進と区民の花づくり、緑化についての関心を高めるとともに、花と緑にあふれたまちづくりへの積極的な取組みを図る。
天王寺区	花とみどりのまちづくり事業	花と緑のまちづくりに関心をもってもらい、地域での緑化普及・啓発を図るため、住民を対象に各地域での緑化講習会を開催する。また、緑化リーダーが中心となって種花事業を推進する。
西淀川区	花と緑のまちづくり講座及び緑化推進にかかる啓発事業	「花と緑あふれるまちづくり」の推進のため、花と緑のまちづくり講座の開催や区内の拠点施設等への植栽を行う。
西淀川区	西淀川区自然体験教室 2008【再掲】	「花と緑にあふれるまちづくり」の推進・わがまち西淀川区を再発見するために、大野川緑陰道路から矢倉緑地に至る緑と自然環境に親しむ自然体験教室を開催する。
西淀川区	西淀川区民のまちづくり支援事業「未来わがまちビジョンの推進」【再掲】	「西淀川区未来わがまちビジョン」が示す西淀川区の将来像「住みやすいまち西淀川区」の実現にむけて、区民自らが主体的に、あるいは行政と協働して取り組むまちづくり活動を支援する。具体的活動として、①大野川緑陰道路(3.8km)全域を地域や各種団体と連携して年 4 回(春夏秋冬)一斉に「クリーン大作戦」を実施する。②区内の公園等に地域・緑化リーダーと協働して花壇づくりを行う。③区の歴史文化的資源を掘り起こし「西淀川お宝 100 選」を作成する。④食文化の視点からまちの歴史・文化を発見し次世代に伝える取組みを行う。
淀川区	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくりを推進するため、ゆとりとみどり振興局十三公園事務所とも連携し、「寄せ植え講習会」の実施や、区の木「きんもくせい」の普及活動を推進する。
東淀川区	種から育てる地域の花づくり支援事業	区民自らが種から花苗を育て、育った花苗を区内各所に植え付けることを通して、花と緑あふれる潤いのあるまちづくりと地域コミュニティ活動の活性化を進める。

区	事業名	事業概要
東成区	花と緑のまちづくり事業	花と緑にあふれ潤いのある美しいまちづくりをめざし、気軽に関心をもって参加できるガーデニング講習会（同時に緑化相談）を開催するとともに、普段から身近な地域を中心に緑化に取り組んでもらえる機会を提供するため、緑化指導員の講習会を開催することにより、区民の緑化意識の高揚を図る。
生野区	種から育てる地域の花づくり支援事業	区民協働により「種から育てる」花づくりを通じて、潤いのあるまちづくりをめざすとともに、まちをきれいにしようとする意識をはぐみ、ごみの不法投棄防止等による美しいまちづくりにつなげ、地域に根ざした形で真の花と緑のまちづくりを図る。
旭区	種から育てる地域の花づくり支援事業	グリーンコーディネーター、緑化リーダー、ボランティア及び小学校の児童と先生が協働して、行政の支援のもと、種から花苗を育て、その花苗をまちなかの公園、道路、区役所、学校、保育所などの公共空間に配置する。
旭区	花しょうぶフェスティバル開催事業	区の花である「花しょうぶ」の普及と城北公園エリアの活性化をめざし、城北公園、城北菖蒲園を舞台にボランティア、NPO法人、区内官公署・事業所、旭区内の経済団体等と協働で花しょうぶフェスティバルを開催し、花と緑あふれる潤いのある旭区のまちづくり気運の高揚を図る。
旭区	あさひ菊まつり開催事業	城北菊花展の普及と城北公園エリアの活性化をめざし、ボランティア、NPO法人、区内官公署・事業所、旭区内の経済団体等と協働であさひ菊まつりを開催する。
城東区	種から育てる地域の花づくり支援事業	本市が進める市民協働による花と緑のまちづくりを、今後より効率的・効果的に推進していくために、従来のように行政が提供した花苗を市民が植えつけるのではなく、「種から育てる」という発想で、市民自ら花苗を育て、公園や街路をはじめ、まちなかに花を植え、管理するという市民主体の花飾りへの転換を図る。
城東区	花と緑のふれあいまちづくり事業	花と緑を介した地域コミュニティや区民の生きがいづくりに貢献しながら、多くの区民が花と緑あふれるまちづくりに参画できるよう区民意識の高揚を図るとともに、花と緑のまちづくりの担い手を育成するために、寄せ植え講習会などを事業実施する。
鶴見区	種から育てる地域の花づくり支援事業	区民ボランティアが、自らの手で種から花苗を育て、公共施設などに植えることにより、街の美化や潤いのある花と緑のまちづくりを推進する。
鶴見区	花と緑のまちづくり推進事業	花の育成を通じたまちづくりの醸成を図るため、区民の手によって花を育て、区内鉄道駅及び区庁舎玄関に飾るとともに、区内庁舎内において写真展を開催する。
阿倍野区	種から育てる地域の花づくり支援事業（ふれあい花づくり事業）	市民協働による花と緑のまちづくりを推進していくために、行政主体の花づくりではなく「種から育てる」という発想で、市民自ら花苗を順にリレーして育て、公園、街路、まちなかに花を植え管理するという市民主体の花づくりへの発想の転換を図る。
阿倍野区	ふれあい交流花畑事業	JR阪和線の車窓から乗客へのアピール度も高い天王寺大和川線の予定地を利用してワイルドフラワーなどにより整備した花畑において、さまざまな人たちがボランティアとして花づくりに携わるとともに、花植え等のイベントを行うことで、区民の交流を広げる。
住吉区	種から育てる住吉区の花づくり事業（花さかすみちゃん）	ボランティアの区民が、種から育てる花づくりを行い、行政が地域の緑化活動の拠点づくりを支援することにより、官民協働による花と潤いのある美しいまちづくりを進めるとともに、地域コミュニティの醸成を図る。
住吉区	花と緑のまちづくり推進事業	「寄せ植え講習会」の開催や、「ふれあい花壇」の運営などを通して、グリーンコーディネーター・緑化リーダーを中心とするボランティアのネットワーク化を図り、複合施設の緑化をはじめとした区内の緑化活動を推進する。
東住吉区	東住吉区クラインガルテン広場事業	区における農業と緑化活動の拠点として、市営住宅跡地を活用し、「クラインガルテン広場」として整備する。基本構想については公募区民によるワークショップを開催し、区民の意見を十分に反映した施設づくりをめざす。
東住吉区	花と緑の講習会	緑化意識の高揚を目的として、公募区民を対象に寄せ植え講習会等の緑化講習を実施する。講習後は、区の緑化ボランティア団体への参加を促し、区民協働の緑化のまちづくりを推進する。
平野区	花と緑のまちづくり推進事業	緑化リーダー・グリーンコーディネーターを中心に組織名「コットン平野」として区民花壇の制作、小学校での花壇づくり、さらには、地域、校園、福祉施設などに花苗を配布し、花を通じたコミュニティづくり、緑化啓発を推進する。また、区内の事業に参加し、「苔玉づくり」、「寄せ植え」の講習会を開催することにより、他のボランティアとの連携を図る。
西成区	種から育てる地域の花づくり支援事業	これまで行政主導で行ったり、行政が提供した花苗を市民が植え付けたりしていたまちなかの花飾りを市民の手で種から育てることにより、花と緑あふれる美しいまちづくりをめざすものである。これらの活動により、道路や駅前などの迷惑駐輪やごみの不法投棄などを防止し、自分たちの町を自分たちできれいにするという気運が高まっている。

○ 企業支援、企業・大学との連携

区	事業名	事業概要
浪速区	「なにわの日」事業【再掲】	7月28日「なにわの日」の前後に、区内の様々な分野の交流を通して連携を深め、既存ストックをつなぎ新しい活動のきっかけを作り、芸術・文化の魅力的な財産の発見と浪速区の認知度アップにつなげるため、「アート（音楽・芸術・技術）」をテーマにした様々なイベントを開催する。
西淀川区	活力あるまちづくりに向けた区内企業に対する支援	企業向けセミナーやインターンシップ、区内工場見学会の開催など、企業への支援事業を実施するとともに、区内企業が実施している社会的貢献活動などを区ホームページ・広報紙等で区民の方に紹介するなど、区民と企業の良好な関係による活力あるまちづくりをめざす。
西淀川区	商店街と地域の活性化に向けて、地域特性を活かした商店街活性化モデル事業	区商店振興協議会を中心に「いい店発掘!わがまち自慢プロジェクト委員会」を設置。区内にあるお店の情報を広く区民から集め「商店マップ」を作成するとともに、その情報をもとに区内のユニークな店舗10店を選定し表彰。また、選ばれた10店とモデル地域の商店街を中心に、2ヶ月間の「お買い物スタンプラリー」を実施するなど、商店の活性化と地域のコミュニティづくりの支援を行う。
東淀川区	区内の2大学との協働連携事業	大阪経済大学・大阪成蹊学園と18年12月に「協働連携に関する基本協定」を締結。地域資源である大学の先端的・専門的な「知」を活かし、まちづくり・人材育成や地域福祉・生涯学習など様々な分野において協働連携し、地域社会の発展をめざす。現在、「地域ゆめ・まちリーダー塾」、「区民参画・協働に関する研究会」、生涯学習事業「きざし塾」、子育て支援連続講座、「孫育てフォーラム」、「健康づくり区民会議」などに協働して取り組んでいる。
東成区	東部ものづくりネットワーク形成支援事業	隣接する生野区や東大阪市とともに地域ものづくりの活性化に向け、経済局策定の「ものづくり再生プラン（第2ステージ）」の方向性を踏まえながら、ものづくりのPRやビジネスチャンスの拡大、横請け仲間の再生に向けた支援など市東部地域のものづくりネットワークづくりを支援するとともに、地域住民との調和や教育現場との連携による次世代人材の育成などに取り組む。
生野区	東部ものづくりネットワーク形成支援事業	地域住民との調和や教育機関との連携による次世代の人材育成など、地域のものづくりネットワークづくりの充実を図り、地域のものづくりの活性化をめざす。
旭区	商店街の空き店舗を活用した文化講習会事業【再掲】	商店街の空き店舗等を活用し、定期的にリサイクルをテーマとした講習会を開催する。買い物の途中で気軽に参加できる講習会を開催することで、商店街への集客を図る。
旭区	大阪工業大学との連携協力事業	区と大学が相互に連携協力を行うことにより、まちづくりをはじめとした地域の政策課題の解決や、地域の各種活動への参画、生涯学習・地域の文化・スポーツの振興等さまざまな分野の活動の充実を図り地域の持続的な発展を図る。
平野区	平野ものづくり地域プロモーション事業	東住吉区・平野区の優れた商品や技術など、「ものづくり」をキーワードに企業と事業者・住民・学校を結ぶためのしかけづくりとして、企業と地域住民が触れ合うことにより、活力あるものづくり、地域づくりをめざす。

○ 地域資源・歴史・文化

区	事業名	事業概要
北区	北区歴史発信事業	北区の歴史文化を深く掘り起こすとともに、潜在的な情報についても収集し、北区の歴史の観光資源としての魅力の向上を図る。このため、多様で豊富な情報を収集し、また、人の交流・ネットワークを広げることを目的として、講演会やイベントを行う。
北区	伝統文化継承事業	伝統的な暮らしの豊かさや都心に眠る地域の力などを多くの人に伝え、区民がまちに愛着を持つとともに、その魅力を継承したまちづくりを行うため、伝統文化と職人さんをテーマにした展示会や職人技の体験教室を実施する。
都島区	都島区未来わがまちビジョン推進事業 (蕪村まつり事業)	地元商店会や文化サークルの参加による「蕪村まつり」を実施。子どもから大人まで広い世代を対象にした「俳句コンテスト」「蕪村の風景写真コンテスト」により、都島区毛馬町で生まれた与謝蕪村を資源としたコミュニティづくりを図る。
都島区	貴志康一生誕 100 年 記念コンサート	都島区ゆかりの音楽家、貴志康一の生誕 100 年を記念して大阪フィルハーモニー交響楽団によるコンサートを開催し、区の歴史・文化的な魅力を発信する。
都島区	毛馬キュウリ普及運動 推進事業	区民により構成された「毛馬キュウリ普及運動推進委員会」と協働して、「苗の配布会」、「料理講習会」、「育成コンテスト」を開催。「毛馬キュウリ」の普及・啓発を通じて都島区の歴史や文化への理解を深め、コミュニティの育成を図る。
福島区	冊子「わがまち福島区」を活用した出前講座等支援事業【再掲】	区民に福島区の歴史・文化や地域の特性などを再発見、再認識する機会を設け、愛着心の向上や地域コミュニティの醸成につなげていくために、平成 18 年度に作成した冊子「わがまち福島区」を活用し、冊子に掲載できなかった事項を補完した出前講座用マニュアルを作成し、新たなマンションや地域、学校に出向き、「わがまち会議」委員などによる出前講座を行う。また、区ホームページにおいてもマニュアルをベースにしたページを作成し、より多くの人に周知する。
福島区	区民ウォーキング大会 【再掲】	区民の参加を広く募り、区内の名所・旧跡などのポイントをめぐるウォーキング大会を開催し、福島区を再発見・再認識する機会を設けコミュニティ意識を高め、健康の増進を図る。
福島区	茶華道とバーゼンドルフ アーに親しむ会	日本の伝統文化である茶道・華道の教室での活動を区民に紹介する場を設けるとともに、区民センター所有の世界でも有数のピアノ「バーゼンドルフアー」の音色を味わう一時を設け、新たなコミュニティづくりを図る。
福島区	まちの魅力発信事業	都市大阪創生研究会(事務局:(財)都市工学情報センター)では福島区内のさまざまな街の魅力をとりあげたフリーペーパーを平成 18 年 7 月から全 20 回発行され、区民等到大変好評を得ていることから、蓄積された情報を集約し冊子としてまとめ、集客促進やセミナーを開催するなど幅広く活用する。
福島区	肩書きのあるまちづくり 支援事業	地域特性を検討し、地域名称に肩書きをつける。その肩書きを用いたビラや冊子を作成し、集客観光や地名周知に活用するために、今年度は各地域のリーダーとなる人材に趣旨や事業展開の周知徹底・共通理解を図るため、事業企画会議を実施する。
此花区	このはなアートプロジェ クト	区民の温かい心を表現し、まちを彩り、まちと人、人と自然をつなぐようなアートを既存の公共空間及び公共施設等に充実させ、まちの活性化を図る。今年度も、区民・芸術関連の学生・専門家が協力し、4～5カ所に「まちのシンボル」となる芸術性の高い壁画を制作し、「区民や此花区を訪れる人々の憩いの場」を創るとともに潤いのあるまちづくりをめざす。
此花区	このはな区民学芸員」 養成プロジェクト	此花区の歴史資源や観光資源など、わがまちの魅力を発信し、区の活性化やまちづくりを担う人材養成を行い、来訪者に対するガイドの役割を担う「このはな区民学芸員」の養成によって、区民が「わがまち此花」の魅力を再発見し「まち」に愛着や誇りを持つことから観光・集客の基盤づくりをはじめる。
此花区	大阪水都観光交流促 進事業	ベイエリアから川筋に至る「水の都」再生をテーマにした官民連携した市民参加型の集客キャンペーン、各種スポーツ施設や文化施設あるいは企業集客が進む舞洲スポーツアイランドを会場として「オリンピック出場選手による体操競技の実技・指導による体験イベント」や舞洲をめぐるサイクルラリー等の開催。
此花区	「おもしろトレイルル ート」のウォークラリー【再 掲】	より多くの区民に此花区の名所・旧跡を巡って知ってもらうとともに、区民の健康増進や区への愛着を深めるため、環境フェアや此花区民学芸員養成事業など、区民参加のイベントの際に拡充実施する。
中央区	水の回廊・陸の街路・ おらがガイド	歴史と文化に彩られた中央区の魅力を体感することで、内外に中央区の魅力を発信し、区政への参画意欲を醸成するため、ボランティアガイドの案内のもと、中央区を横断する東横堀川・道頓堀川等を周遊し、区内をまち歩きする。

1 各区の主な事業

区	事業名	事業概要
中央区	未来わがまちビジョンに基づく区民主体の課題克服・魅力向上支援事業【再掲】	中央区の魅力の向上を区全体の地域課題として捉え、地域住民のネットワークを最大限に活かし、その地域に伝わる歴史・文化等いわゆる“お宝”を紹介する、「わがまちガイドナビ」を作成する。さらに、これらの活動を広報し、多くの区民の参加を促すとともに、ガイドナビを活用した区民交流イベント等を企画・開催する。
西区	共通の水辺空間を利用した三区まちづくり事業（三区物語）【再掲】	三区の未来わがまち会議のメンバーをはじめ、大阪府や各種団体及び企業の参加を広く求め、実行委員会を立ち上げるとともに、20 年度も三区の結節点であるドーム南側付近でイベントを実施する。その際には、水上ステージに加えて、地域資源としての「川」を活かしたまちづくりや環境・緑化などのシンポジウムを開催し相互交流を図るとともに、大阪市の水辺再生事業の一翼を担う。
西区	川と海をつなぐ大阪水都観光交流促進事業	此花区・大正区・住之江区を巡る観光船と西区と港区を往復する水上バスを運行し、各区が寄港地でイベントを開催する。当区では、臨海部のイベント会場と都心のリバーフロントを結ぶ小型客船を運航し、船内及び乗降場所で、川が大阪の観光・防災・環境に与えている影響の大きさについての啓発活動を行う。
港区	川と海をつなぐ大阪水都観光交流促進事業（国際交流フェスタ〜みなと秋まつり）	此花区・港区・大正区・住之江区を巡る観光船と西区と港区を往復する水上バスを運行し、各区が寄港地でイベントを開催する。港区では、大阪に住み活動する留学生をはじめ在住外国人の参加も得て、各国地域料理の屋台の出店や、船の寄港にあわせて民族舞踊や民俗音楽などを繰り広げる国際交流イベントを開催する。
港区	港区歩港会【再掲】	区民自らが企画し、区内を歩くことで、自分たちの住んでいるまちを再認識してもらう。自分の住んでいるまちをより深く知ってもらうことで、区民がわがまちへの愛着を育み、まちづくりに参加する気持ちを持ってもらう。
大正区	共通の水辺空間を利用した三区まちづくり事業（三区物語）【再掲】	大正区、西区、浪速区の三区の結節点であるドーム南側付近で、水辺に接する共通の課題をもつ三区が連帯して、市民協働による取組みをよりいっそう進めていき、区をまたがる課題に着手していくことで、さらなる地域活性化につなげていくことを目的とした各種イベント（地域資源である「川」を活かしたまちづくりや水辺再生をテーマとした水上ステージライブ、三区のわがまちフォーラム、環境・緑化等に関する講座等）を官民協働で実施する。
大正区	川と海をつなぐ大阪水都観光交流促進事業（河川の活用による集客を通じた大正区の活性化をめざす「なにわの川物語」）	ベイエリアから川筋に至る「水の都」再生（住む人が誇りに思い訪れる人が魅力を感じるまちづくりを市民の手で）を統一テーマに官民連携したキャンペーンイベントを港湾局、大正区、此花区、西区、港区、住之江区による連携事業として実施する。 大正区では次の事業を実施する。 ○朝鮮通信使の航路と落語「骨つり」の舞台となった木津川・尻無川をたどる舟運事業 ○尻無川巡航船事業 ○鶴浜での夕陽コンサートと沖縄物産展
大正区	大正区まち案内人スキルアップ事業	大正区では、歴史のまちづくりを進めており、1914 年から約 2 年半開設された「ドイツ兵の捕虜収容所」等、埋もれていた大正区の歴史・文化を、区内小・中学生や来区者に案内・説明するガイドボランティアを育成してきた。当事業では活動のためのさらなる知識向上に向け、学習会の開催や史跡見学を行うなどスキルアップを図り、まち案内活動の支援を行う。
大正区	大正ドイツ友好事業	1914 年から約 2 年半大正区に開設された「ドイツ兵の捕虜収容所」が開設されていた史実から、大正ドイツ友好事業への取組みが始まり、これまで収容所の写真展開催や、「大阪俘虜収容所」史跡碑の設置を行った。平成 20 年度も引き続きドイツとの友好親善の意識を高め、国際交流の輪を広げ育成していくため、ドイツ学習会やドイツ音楽の演奏会による文化の交流を図る。
天王寺区	歴史の散歩道案内事業	区内に数多くある寺社仏閣・史跡などの観光資源の魅力を案内する観光ボランティアガイドを育成することにより、ソフト面から国際集客都市大阪の拠点づくり及び歴史と文化を活かしたまちづくりの推進を図る。
天王寺区	天王寺再発見ウォーキング	区の歴史・縁の人物・浄瑠璃や落語など文化との関わりなどを再発見することにより「わがまち天王寺」に対する愛着心の高揚と歴史と文化がおりあふれるまちづくりの推進を目的に開催する。
浪速区	共通の水辺空間を利用した三区まちづくり事業（三区物語）【再掲】	川を境界として隣接している 3 区（浪速、西、大正）による、川やリバーサイドを舞台とした合同イベント。各区間の人的ネットワークを強化し日常的な交流を促進することで、まちづくりへの一層の活性化を図るとともにまちの魅力を広く PR する。
浪速区	ふれあいウォーキング・スタンプラリー事業【再掲】	区民の健康づくりと「わがまち浪速区の再発見」に役立てるため、区内の旧所名跡をたどるウォーキング・スタンプラリーを開催する。また、ゴール地点の区民センターでは各種模擬店も開催する。

区	事業名	事業概要
西淀川区	西淀川区民のまちづくり支援事業「未来わがまちビジョンの推進」【再掲】	「西淀川区未来わがまちビジョン」が示す西淀川区の将来像「住みやすいまち西淀川区」の実現に向けて、区民自らが主体的に、あるいは行政と協働して取り組むまちづくり活動を支援する。具体的活動として、①大野川緑陰道路(3.8km)全域を地域や各種団体と連携して年4回(春夏秋冬)一斉に「クリーン大作戦」を実施する。②区内の公園等に地域・緑化リーダーと協働して花壇づくりを行う。③区の歴史文化的資源を掘り起こし「西淀川お宝100選」を作成する。④食文化の視点からまちの歴史・文化を発見し次世代に伝える取組を行う。
西淀川区	西淀川区「キラメキ未来塾」【再掲】	区内の小学校の高学年を対象に、西淀川区の歴史や文化を学び、子ども達が自らの発想により区の将来像・理想像を描く場を提供する。
淀川区	わたらのまちで「国際交流 in YODOGAWA」	区民センター及び野中南公園(区民センターに隣接)において、各国の民芸品の紹介・展示や民族音楽の演奏・唄・踊りのほか、相互異文化交流ワークショップを実施する。
淀川区	「淀川じゅく」事業	区民、企業と協働して様々なテーマ(歴史散歩、アロマテラピーを取り入れたヨガ体験、マネー講座、男の手料理入門)で講座を実施する。
東成区	暗越奈良街道を中心とした歴史的資源を活用した、市民協働によるまちづくり活動支援事業	「暗越奈良街道」を中心とした東成区の代表的な歴史的既存ストックを活用したまちづくりに向け、市民による地域プラットフォームの活動を推進するとともに、新たな形成を支援し、市民協働によるまちづくり活動の推進をめざす。
東成区	伝統野菜玉造黒門白瓜普及事業	東成区の伝統野菜である玉造黒門白瓜の普及を通じて、東成区への愛着を育み、より多くの区民参加によるまちづくりを実践する。
生野区	「いくのトライアングルタウン」魅力発信支援事業【再掲】	鶴橋・桃谷・御幸通(コリアタウン)の商店街と古い町並みや史跡などの地域資源を生かしたネットワーク網を築きあげ、これらの地域をトライアングルタウンとして、その魅力を全国に情報発信しつつ、地域住民のわがまち意識の高揚と街の活性化を図る。
旭区	「翔ばたけ 旭区ブランド」事業【再掲】	「旭区未来わがまちビジョン」のテーマのひとつである「旭区の名物づくり」実現のため新たに参画区民を募集のうえ「旭わがまちお宝発見隊」を再組織し、第2回のお宝募集を行う。認定された「旭区ブランド」「旭わがまちお宝」の総合発表会の開催等PRをすることにより地域活性化や住民主体のまちづくりを図る。
旭区	「城北公園 元気づくり」プロジェクト【再掲】	旭区の地域資源である城北公園の資源や素材を活用し、「みんなが元気になる取り組み」を実施し、年間を通して城北公園に集客を図り、旭区が元気を取り戻す起爆剤とする。
旭区	まちづくりネットワーク育成事業	協働のまちづくりを担う人材の育成・確保をめざして、旭区の3地域を対象に地域の歴史調査や聞き取り調査等を行い「地域史」を作成する。
旭区	花しょうぶフェスティバル開催事業【再掲】	区の花である「花しょうぶ」の普及と城北公園エリアの活性化をめざし、城北公園、城北菖蒲園を舞台にボランティア、NPO法人、区内官公署・事業所、旭区内の経済団体等と協働で花しょうぶフェスティバルを開催し、花と緑あふれる潤いのある旭区のまちづくり気運の高揚を図る。
旭区	あさひ菊まつり開催事業【再掲】	城北菊花展の普及と城北公園エリアの活性化をめざし、ボランティア、NPO法人、区内官公署・事業所、旭区内の経済団体等と協働であさひ菊まつりを開催する。
旭区	城北公園エリア活性化対策事業	旭区の地域資源である城北公園や城北公園で栽培されている「花しょうぶ」や「菊」等を活用した事業を城北公園事務所と共同で実施し、城北公園に集客を図ることにより、旭区全体の活性化につなげていく。
城東区	城北川アメニティゾーン化計画【再掲】	城北川が「区民がいつでも憩い・集い・楽しいと感じる親水エリア」「城東区が誇るランドマーク」となるよう、「城北川アメニティゾーン化計画」を策定し、幅広い区民の参画を得て、協働による取組を進める。
阿倍野区	共生社会推進事業	さまざまな人が協働して取り組む「クリスマスコンサート」を支援する。人がそれぞれの違いを互いに認め合いともに支え合って生きていくことのできるまち「阿倍野」の実現に向け、人々の共生をめざす取組みとして従来の「アベノモクラシー」と映画祭を区を中心に再構築して開催する。
住之江区	川と海をつなぐ大阪水都観光交流促進事業(歴史を振り返るサイクリング)	1400年という歴史の重みがあることを区民に知ってもらい、地元への愛着・愛郷心を喚起する。多文化共生の趣旨を区民に広く周知する。区民参加型・手作りイベントをめざす。

1 各区の主な事業

区	事業名	事業概要
住之江区	まちづくり文化事業	住之江区により関心を持ってもらうことを目的に事業を展開し、自分の住む地域に愛着をもちいつまでも住み続けたいと思うまちづくりへとつなげる。様々な角度から他の文化と接することで多文化理解を深め、異なる文化背景をもつ人々の人権を相互に尊重しあって生きる多文化共生社会の実現をめざす。
住吉区	「観光区住吉」復活事業	住吉区は、「観光区住吉」として栄えた歴史をもっている。現在も社寺や史跡、自然、商店など多くの資源が集積する住吉大社周辺及び帝塚山地域において、地域の特色を活かしたまちづくりを地域住民とともに進め、「観光区住吉」の復活を図る。
住吉区	おもしろ「住吉検定」	平成20年度より活動する「すみよし歴史案内人の会」(歴史ガイドボランティア)と協力し住吉検定の実施や、住吉区を紹介する小学生・外国人向けパンフレットを作成し、住吉区の魅力を発信する。
東住吉区	区民フォトコンテスト	まちへの愛着を高めることを目的とし、テーマを設定して広く区民に写真を公募する。子どもの部、一般の部でそれぞれ優秀作を選出し、区役所ロビー等で展示する。
平野区	「ひらの再発見！」事業	平野区の歴史、文化を紹介した「アズ・ヒラノ」、「うおーくらりー」を活用し、健康づくり、まちづくりを兼ねて文化・歴史を探访する。また、平野区には大阪市の児童数の1割が在住し、子ども向け「うおーくらりー」を作成し、地域学校と協働によるまちづくりに活用するものである。
平野区	ふるさと街道事業	「平野区うおーくらりー」【長吉】コースの紙面作成において、地域住民・レポーターの登用や地域イベントや物産品等の紹介し、平野区民の郷土意識の高揚と新たな発見を促進し、歴史・伝統・文化の息づくまちづくりをめざすものである。
平野区	平野区誌出版記念連続講座事業	『平野区誌』を教材として、平野区の歴史を区民が親しみ、楽しみながら学べる場として連続講座を開催する。また、昨年度に好評を博した区内出土品の展示と解説を、今年度も「平野まちぐるみ博物館」に参画して実施する。
西成区	大阪ことば学校開催事業	「大阪のことば(大阪弁)」をキーワードに、子育てを通じて、地域と行政のパートナーシップの土壌づくりとして「大阪のことば学校」を実施する。落語を直に聞くことで、生活の中で生きることばの魅力、ことばによる人情味の機微を学び、子どもの情操教育の一助とする。

○ 音楽

区	事業名	事業概要
都島区	貴志康一生誕 100 年 記念コンサート【再掲】	都島区ゆかりの音楽家、貴志康一の生誕 100 年を記念して大阪フィルハーモニー交響楽団によるコンサートを開催し、区の歴史・文化的な魅力を発信する。
福島区	わがまちの音楽祭	音楽の場を通して、コミュニティの発展と活気あふれるまちづくりをめざし、わが町の文化イベントとして定着化を図るとともに、地域交流の場として、音楽会への区民意識を高める。
西区	西区サロンコンサート	区民参加型イベント。区民の企画、運営による音楽・芸術コンサートを年 4 回開催。
港区	港区ふれあい音楽会	港区内の子どもを対象にわかりやすい説明を交え、楽しく音楽に触れる機会としてのコンサートの開催、ならびに小・中・高等学校生や、港区内に在住する勤労者やゆかりのあるグループなどによる音楽会を開催する。
大正区	区民による第九を合唱 する事業	第 1 次大戦時に「ドイツ兵の捕虜収容所」が開設されていた大正区の歴史の発掘から始まった、大正・ドイツ友好事業の一環として、大正区第九合唱団を結成し、「第九」の演奏会を実施。さらには、大正区に音楽文化が定着することをめざして、平成 20 年度も引き続き第九演奏会を実施する。
大正区	音楽のまちづくりを推進 する事業	「住む人、働く人、学ぶ人」が身近に音楽を感じることのできる環境を整え、大正区に愛着や親しみを持ち、くつろぎやゆとりが感じられるまちづくりをめざし、区内コーラスグループや中学・高校吹奏楽部等による演奏と、プロによる音楽鑑賞する区民音楽祭。区役所 2 階さわやか広場（区民ロビー）でのプロ演奏家によるランチタイムコンサート。若手音楽家に区民ホールを無償で提供し、演奏会活動を援助する若手音楽家育成を目的とした大正区ステージ事業を実施する。
天王寺区	てんのうじ吹奏楽フェス ティバル	区内中学校・高等学校の生徒が一同に会して演奏の機会を提供することにより、わがまち天王寺への愛着心を育むとともに、学校と地域のふれあいの場を提供し、芸術と文化の高揚と香り豊かな潤いのあるまちづくりを推進する。
浪速区	区民ふれあいコンサート 事業	区内小中学生と高齢者との世代間交流を図ることを目的に、小中学生とアマチュアバンドによるコンサートを開催する。また、地域の枠を超えて区民の交流を深め、音楽に触れる機会を提供するため、地域振興大会の第 2 部で、浪速区内に在住し活躍するアマチュアバンドの出演によるコンサートを開催する。
淀川区	区民音楽祭	区コミュニティ協会と共催のうえ区民ホールを利用し、音響・照明等についても区民スタッフを養成して区民の手による区民音楽祭を実施する。
淀川区	淀川区 1 千人の第九	「地域における青年層の活動の場づくり」事業の一環として、区民参加と交流の場づくりとして、1 千人の市民参加によるベートーヴェンの第九の大合唱を実施する。
東淀川区	区ふれあいコンサート事 業	区民が主役のコンサートとして出演グループを公募し、アマチュア音楽グループへの活動の場と、区民と音楽との新鮮な出会いの場を提供。感性豊かな人間性を育て、音楽と区民、区民同士のコミュニケーションを図り、コミュニティづくりと地域文化の振興を進める。平成 20 年度は、15 グループの出演と約 520 名の来場者があった。
東成区	ミュージックフレンズ集ま れ	ひがしなり市民協働ステーション（ふれ愛パンジー）における区民ネットワーク形成並びに音楽文化振興を目的に、「2008 音楽の祭日（6 月 28 日）」に参加し、音楽を共通言語とした住民参加イベントを開催する。
生野区	区民との協働による音 楽とおどりのふれあい事 業	区民の財産でもある区役所ロビーを、区内アマチュア音楽グループの発表の場として提供、同時に「いくのニューおどり」とのコラボレーションを行い、歌と踊りをとおして区民相互のコミュニケーションの機会をつくり、共生のためのまちづくり・うるおいとぬくもりのまちづくりをめざす。
旭区	「音楽の祭日」参画事 業	文化振興及び国際交流の活性化を目的として、全世界で「音楽の祭日」として同日開催されるライブ音楽イベントを旭区で開催する。旭区において開催することにより音楽を通して文化の振興と国際交流に貢献する。
旭区	第 3 回旭区民音楽祭 2008 開催事業	「旭区未来わがまちビジョン」のテーマの「地域が元気になるイベントづくり」にも合致することから、区民が自主的・主体的に立ち上げた「旭区民音楽祭実行委員会」と協働で、「第 3 回 旭区民音楽祭 2008」を開催する。
城東区	音楽文化まちづくり事 業	区民との協働事業を通じて、区内における音楽文化のまちづくりを推進するため、城東区民「クリスマス」コンサート、城東区民音楽祭「吹奏楽フェスティバル」及び「城東区音楽文化のまちづくり懇話会」との共催事業を実施する。

1 各区の主な事業

区	事業名	事業概要
鶴見区	音楽を通じてのまちづくり 区民コンサート事業	「乳幼児と保護者のための親子向けミニコンサート」等を実施することによって、区民に音楽を身近なものとして親しんでもらい、健康で豊かな生活を送るための文化の香り高いまちづくりを推進する。
住吉区	区民コンサート	音楽活動をしている区民（アマチュア）が参画するコンサートを区民センターのホールで開催する。
住吉区	ゴスペルライブ事業	区民センターにおいて、区内在住の中学生と保護者を対象にゴスペルライブを開催し、ライブ鑑賞を通して親子間のコミュニティづくりと、若者同士のコミュニティづくりを図る
住吉区	住吉ユースコンサート事業	区民センターにおいて、アマチュアグループのライブコンサートを開催し、練習の成果を発表する機会を作るとともに、参加者相互の交流を図り、また、家族や友人が来場することにより、参加者相互のコミュニティづくりを図る。
平野区	区民ロビーコンサート	「ひらの混声合唱団」の自主運営をサポートし、日ごろからみんなで歌おうと練習を行っている。同合唱団を始め区内の演奏者など、区民と協働のもと区役所のロビーにてコンサートを開催し、区民の方々に区役所を親しんでもいただき、音楽を通じてコミュニティ豊かなまちづくりをめざす。
西成区	西成ミュージカル開催事業	西成区未来わがまち会議で提案されている人が集うるおいのあるまちづくりの実践プランとして「西成ミュージカル」を開催する。区に活動拠点を持つ関西芸術座の協力を得て、地域の特色を生かした内容とつながりづくりをめざす。
西成区	区役所ロビーコンサート開催事業	区民に、地域への愛着をより深めてもらうとともに、区役所をより身近に親しんでもらうため、区役所庁舎前広場や区民ロビーにおいて、地元の学校関係者や、大阪フィルハーモニー交響楽団等のコンサートを開催する。

○ スポーツ活動の推進

区	事業名	事業概要
福島区	区民ウォーキング大会【再掲】	区民の参加を広く募り、区内の名所・旧跡などのポイントをめぐるウォーキング大会を開催し、福島区を再発見・再認識する機会を設けコミュニティ意識を高め、健康の増進を図る。
此花区	「おもしろトレイルルート」のウォークラリー【再掲】	より多くの区民に此花区の名所・旧跡を巡って知ってもらうとともに、区民の健康増進や区への愛着を深めるため、環境フェアや此花区民学芸員養成事業など、区民参加のイベントの際に拡充実施する。
浪速区	浪速子ども球技大会【再掲】	スポーツを通じて児童・生徒の健全育成を図り、「人権啓発」「人権教育」「自己実現」を基調とした仲間づくりを行い、区内の児童・生徒・保護者の交流を深め地域コミュニティの形成を図る。
西淀川区	世界陸上大阪大会記念第2回区民駅伝大会	平成19年度に開催された「世界陸上大阪大会」の理念を継承し、また区レベルのスポーツイベントとして、各連合対抗や一般参加対抗等の駅伝大会を公私協働で開催する。
淀川区	淀川ウォーキングジャンボリー大会	毎年秋、淀川河川敷において、区民の健康増進と淀川の自然とのふれあいを目的として、9k、14k、20k、30kコースで開催する。現在、淀川河川敷フェスティバルと連携して同時開催。
城東区	区民スポーツの振興事業	地域スポーツの活性化を図るために、あらゆる世代の区民が気軽に楽しみ、参加できる区民スポーツ大会を開催し、身体を動かすことの楽しさを知ってもらうとともに、区民の交流から生まれるコミュニティの輪を広げ、区民の心身共の健康増進を図る。
鶴見区	スポーツの楽しさがあふれるまち推進事業	区民がゆとりを大切にし、健康で豊かな生活を送るために、鶴見緑地パークゴルフ場において「パークゴルフ大会」を開催する。

○ 情報発信

区	事業名	事業概要
北区	区民交流プラザ、まちづくりサポート広場	平成 20 年 10 月に開設する区民交流プラザに区民情報コーナーを移し、行政情報や地域活動の情報発信の機能を拡充する。ホームページにおいては、区民のまちづくり活動に参加するきっかけづくりや、区民とまちづくり活動団体の交流を支援・促進する双方向のページづくりをめざしたコンテンツ“まちづくりサポート広場”を掲載。
中央区	データで見る中央区	タテ割り行政の弱点を是正し、各行政機関のまちづくり事業を総合的に効果的に推進するため、中央区に関わる各般の行政情報を総合的に取りまとめた「データで見る中央区」を作成する。
港区	港区広報板設置運営事業	交通の要所である区内の鉄道駅舎に、区の広報板を設置し区広報紙の掲示、イベント情報、予防接種などの区内情報を積極的に発信することによって、区事業等への参加を促進する。
港区	港区役所かわらばん事業	区のまちづくり事業や職員の取組みについて新聞を作成し、来庁者の目に付きやすい区役所 1 階の壁に活動の報告等を掲示する。港区役所、大阪市の動きについて広く情報発信し、区民の信頼回復につなげる。
天王寺区	区のホームページにおける地域情報の更新	各地域で取り組まれている活動を広く周知するため、情報提供のツールとして活用。地域活動団体から活動情報の提供を受け、住民の地域活動への参画、交流の促進、さらに地域に対する関心を高めるなどまちづくりを推進する。
西淀川区	携帯端末用サイト運用事業	携帯電話を使い、区行政情報や地域の情報を入手するための携帯端末用サイトを運用する。特に待ち時間の長い保険年金担当の窓口について、待ち人数をリアルタイムに提供し、待ち時間を有効活用していただくなど来庁者の負担の軽減を図る。
東成区	「ふれ愛パンジー」メールマガジンの配信、季刊誌パンジーレターの発行	ふれ愛パンジーでのイベント情報や運営委員会での活動報告を行う。
東成区	うりちゃりだより、あんぱト通信の発行	ホームページにおいて、各地域の防災の取組みや地域安全パトロールの取組み内容等の情報を発信する。
鶴見区	鶴見区情報誌の作成	区民がふるさと意識を持ち、区民のまちづくりへ参画する意識の高揚をめざすため、区民の視点から見たまちや人を紹介した情報誌を発行する。
住之江区	区役所庁舎における区民情報スペースの区民との協働による整備	区役所の区民情報コーナーを整備し、各種資料を体系的に提供する。
東住吉区	なでしこ情報ルーム情報端末の運用	区における情報の受発信拠点としての「なでしこ情報ルーム」において、区民が自由に情報を検索できるパソコンを設置するための経費。
西成区	サポーター募集・育成事業【再掲】	区内のあらゆる団体の広報担当者を中心に、「広報編集教室」の参加者を募集し、広報誌やミニコミ誌の編集方法を学んでもらう。その「広報編集教室」の受講者の中から「サポーター」を公募し、以前からの「サポーター」と協力し合い、区活性化事業のスタッフとして、区内のユニークな事業や区民の身近な情報を取材し、タウン誌を編集・発行して区民に広く発信する。
西成区	地域活動広報事業	区の広報紙に区内で地域活動している団体やグループを紹介する特集を掲載し、活動状況を地域を越えて共有することを目的とすることにより様々な活動への理解と関心を高め、活動の連携づくりのきっかけとすることで、新たな仲間づくりが期待される。また、活動のテーマを持ち、創意に満ちた活動や地域の課題解決に向けた新しい活動を紹介することで、そこから何かを学び吸収する効果を得ることをめざす。

○ 区政モニター

区	事業名	事業概要
浪速区	区政モニター	区民や区内に在勤・在学する方を対象にモニターを委嘱し、区政の重要課題や区民の生活に関係の深い問題等についての意識を把握し、区政の施策立案の参考とする。
東成区	区政モニター事業	区政に関するモニターを設置し、区民のニーズや意見等を積極的に把握を行い、区の施策へ反映する。
住之江区	区政モニター	区政モニターを拡充し、区政に活かす。またご意見箱へのご意見とともにホームページなどで公表する。

○ 市民サービスの向上

区	事業名	事業概要
大正区	庁舎案内人充実事業	行政に対する信頼関係の構築及び、区業務における市民の満足度アップを目的とし、案内業務のプロを民間業者より派遣し「接遇」を基本とした区行政の全般的な案内業務及び申請書の記載補助など、庁内案内業務の充実、職員の接遇スキルのアップを図る。
東成区	窓口案内員の配置	適切な窓口へスムーズに案内し、来庁者の待ち時間を短縮するなど、窓口サービスのより一層の向上をめざして民間公募による窓口案内員 4 名を配置。
生野区	いくみんコンシェルジュの配置(保健福祉センターを中心としたフロアーワンストップサービスの実現)	保健福祉センターの窓口フロアーを中心に、積極的に来客の相談内容を把握し、問題整理を行いアドバイスをしながら相談者に付き添って問題解決を図る社会福祉に専門的な知識を有するコンシェルジュを配置し、ワンストップ化を図る。なお、区の特色に配慮しハングルでの対応も可能なものとする。

2 各区の独自研修・サークル活動など

市民サービスや職員の能力の向上に向け、区独自のさまざまな研修・サークル活動や、サービス向上マニュアルの作成などの取組みを行っています。

区	取組み概要	
北区	外部講師による職員 接遇研修・職員の接 遇に関する区民アン ケート調査	外部講師による接遇研修を実施するとともに、来庁された市民を対象に職員の窓口対応についてのアンケート調査を実施する。 アンケート調査による区民評価において、5 点満点で 4 点台維持をめざすことで、職員の接遇力と区民満足度の向上を図る。
都島区	CS 推進運動の実施	市民満足度 (CS) を向上させるため、毎月強化項目を設定して全職員で取り組む。
都島区	「元気アップ会議」の開 催	各担当から推薦された元気アップサポーターが、毎月 2 回の定例会議を開催している。職員向けの「庁内ニュースレター」を発行し、職場の課題や改善への取組みを共有するほか、事務の効率向上や改善方法を検討・実施している。
福島区	「CS(市民満足) 向上 運動担当者会」の設 置	市民サービスの向上や市民満足度 (CS) の向上に向け、「CS(市民満足) 向上運動担当者会」を設置し、重点的に取り組む事項について目標を定め、全庁的に運動を展開。
福島区	「元気アップサポーター チーム」結成	職場改善運動のより一層の浸透を図り、「よりよい市民サービスの提供」と「やりがいのある職場づくり」を目的に取組みを推進する。
中央区	「市民サービス向上委 員会」、「接遇リーダ ー委員会」の設置	公募により選任された職員で構成する「市民サービス向上委員会」で、市民サービスの向上や職場改善等に関わる問題点を整理・分類して、改善に向けた取組みを検討。また、「市民サービス向上委員会」からの提言を受けて、「接遇リーダー委員会」を設置し、職員の接遇向上に向けて、接遇研修、マニュアル作成等の行動計画を策定。
中央区	元気アップ運動の実施	「市民サービス向上委員会」が中心となり職員と連携し、市民サービス向上や職場改善について、「関係部局等への内線電話利用の徹底」「庁舎周辺の清掃活動(昼休憩時間 12 時 40 分～13 時 00 分)」等の元気アップ運動を実施。
西区	CS 推進運動の実施	市民満足度 (CS) を向上させるため、接遇等に関して毎月強化項目を設定し、全職員に周知して取り組んでいる。目標の達成度については、課長級及び「元気アップサポーター」によるチェックを毎月行っている。
西区	元気アップ運動の推進	各担当より「元気アップサポーター」を選任し、月 1 回程度ミーティングを開催。効率的・効果的な業務運営に向けて、職場改善事例の共有や意見交換を行うなど、全職員を巻き込んだ運動を展開している。
港区	「CS 推進委員会」の 設置	「港区役所サービス向上計画」の策定とともに設置。メンバーは各担当の職員で構成。CS(市民満足) の向上に向け、CS 推進計画の策定やキャンペーンの実施、CS ニュースの発行など、CS 推進運動の企画、実施を担う。
大正区	大正シャベリバの実施 (元気アップ運動)	設定した共通テーマ(「区民ロビーの活用方法」「歳入確保策」など区としての課題)について各担当単位で議論する場(大正シャベリバ)を設け、職場内コミュニケーションの活性化と改善意識の向上を図ることにより、風通しがよく新しいアイデアの生まれる職場風土を醸成し、市民サービスの向上をめざす。
大正区	情報共有化委員会の 設置	区役所内の様々な行政情報等を職員が共有することにより、市民サービスの向上と職員間のコミュニケーションをはかりもって、風通しの良い職場風土を作ることを目的とし、所属情報紙「大正どうでしょう?」の作成や情報共有にむけた取組みを検討・実施する。
大正区	CS 推進運動の実施	市民満足 (CS) の向上を図るため、「CS 推進リーダー」が毎月キャンペーン項目を設定し、所属情報紙「大正どうでしょう?」にて CS に関する情報提供と CS 活動に関する職員の声を掲載、また、各担当に回覧チラシを配布し、意識の向上に努めている。15 項目のチェック項目を設定し、毎月職員一人ひとりが自己評価を行い、担当ごとで集計した結果を回覧チラシで発表し、職員一人ひとりからの市民満足の向上に努めている。

区	取組み概要	
大正区	「チーム☆接遇どうでしょう?」の設置	「情報共有化委員会」・「元気アップサポーター」・「CS 推進リーダー」の中から接遇改善に向けた取組みを進める合同チームを結成。最初の取組みとして職員の意識改革を行うことを目的に、わかりやすい説明を行うことを宣言した「区民向け・職員向けのポスター」を作成し、周知を行った。以後も取組みを検討、実施する。
天王寺区	夜間自己啓発講座の実施	勤務終了後、大阪市の民間企業派遣研修の経験者を講師とした、民間企業の接遇やCS(顧客満足)についての講演会を開催。
浪速区	「接遇向上委員会」の設置	各担当の接遇リーダー経験者等をメンバーとして設置。区民の皆さんが来庁された際、少しでも満足していただけるよう、また区民の方とのより一層の信頼関係を築き、区役所全体のサービスアップに繋がることを目標に接遇マニュアル[おもてなし]を作成。
西淀川区	CS 推進運動の推進	市民満足度(CS)の向上を図るため、区 CS 推進計画にもとづき各担当で朝礼を実施するなど計画的に取り組んでいる。 また、全職員を対象に窓口案内の実地研修を行った。
西淀川区	職員全員を対象とした夜間自主勉強会の実施	職員の情報共有化と資質向上を図るため、職員全員を対象とした夜間自主勉強会を開催している。 平成20年度は区のまちづくり事業等について職員が講師となり勉強会を開催した。
淀川区	「元気アップサポーター会議」の設置、「オフサイトミーティング」の開催	若手職員による職場改善運動を推進するため「元気アップサポーター会議」(2 チーム)を設置し、職場改善や職場コミュニケーションの向上などに取り組むとともに、職場CSリーダーを設置し、「CS推進研修」の実施、さらに、元気な職場づくりをめざし、年代別に区長と職員による「オフサイトミーティング」を開催。
東淀川区	元気アップ運動(ちよつとちよつと活動)の実施	市民サービスの向上や持続的な職場改善に向け、元気アップサポーター(各担当からの自薦・他薦職員で構成)等による、始業時前の区役所玄関前での来庁者及び職員へのあいさつ運動や緊急時に備えての救命講習会・避難訓練を実施。
東淀川区	CS推進運動の展開	市民満足度(CS)の向上に向け、2 カ月ごとに「あいさつ」「身だしなみ」「接遇」など重点取組み項目を設定し、全庁的なCS運動を展開。
東成区	「Re 運動」の展開	職員一人ひとりが意識改革を行い、従来の慣行や考え方にとらわれず、自らの職場において自主的な見直し・点検活動を行い、早急に改善等すべき課題に取り組む。
東成区	東成区のイメージアップに関する取組み	区役所を利用しやすく、信頼されるところにするため、東成区役所のイメージアップをめざして広聴広報委員会による、重点取組みを定めた「向上月間」の設定、夜間自己啓発講座の開催、職員向け情報誌「東成JUMP」の発行、などをCSリーダーとも連携しながら実施。
東成区	「東成区役所市民協働研究プロジェクトチーム(東成大好きプロジェクト)」の設置	区役所が「市民協働の拠点」として、区役所やそこに働く職員の意識改革やあるべき姿、市民の意識改革手法など、コミュニティのしっかりした東成区にあった市民協働の姿や市民協働推進手法について検討する。
東成区	区長表彰制度の実施	区政運営に対する職員の意見及び業務改善提案の中から、特にその内容が優れているものについて、区長より表彰し、職員の業務改善に対する意識向上を図るとともに、区政運営への参加意識と公務能率を高める。
生野区	「CS 推進委員会」の設置	CS(市民満足度)や接遇力の向上、効果的な業務遂行に向けて設置。 各担当ごとに区民サービス行動目標を設定し、その達成に向けて改善を行うなど、職場改善運動とともに人にやさしい区役所づくりをめざして「ぐっじょぶ! IKUNO」を展開。
生野区	「いくみん IT サポート隊」の設置	区民の皆さんにわかりやすい情報発信を行っていくため、ホームページや携帯サイトの効果的な活用方策等について、「いくみんサポート隊」で議論。区役所内で共有すべき情報については、「いくみん IT サポート隊だより」を毎月発行して職員に周知。
旭区	「職員接遇マニュアル」の作成	職員が区民サービスについて改めて考え、窓口改善・事務改善の一助とするとともに、接遇の基本を理解し、接遇スキルの向上を図ることを目的として作成。 「福島区・此花区・港区・大正区・西淀川区 市民サービスアップマニュアル策定プロジェクトチーム」による「区役所サービスアップマニュアル」を参考にし、旭区版に改訂。
旭区	「CS 推進運動」の推進	CS リーダーを中心に、毎月、接遇時の心得などについてテーマを設定し、CS 通信を作成して全職員に周知。
旭区	「元気アップ運動」の推進	元気アップサポーターにより構成した「元気アップサポーター会議」を随時開催し、職場改善事例情報の共有や意見交換を行い、効率的・効果的な業務運営に活用。

2 各区の独自研修・サークル活動など

区	取組み概要	
城東区	「市民サービス向上委員会」「IT化推進検討委員会」「まちづくり企画検討委員会」の設置	市民サービスの向上と職員のスキルアップを目指し設置した各委員会においてワーキンググループを組織し、職員自らが積極的に市民サービスの向上やまちづくりについて議論し実践していくとともに、市民サービス向上に向けた職員の意識改革と職場風土の改革を行っていく。
城東区	「CS 運動推進本部」の設置	市民サービスの向上や市民満足度(CS)の向上に向け、「CS 運動推進本部」を設置し、重点的に取り組む事項について目標を定め、全庁的に運動を展開。職員間での情報共有のために「CS 推進レター城東」を発行。
鶴見区	「CS 向上委員会」の設置	市民サービスの向上や市民満足度(CS)の向上に向け、「CS 向上委員会」を設置し、キャンペーンとして重点取組み項目を定めた全庁的なCS運動を展開。職員間での情報共有のために「CS ニュース」を発行。
鶴見区	「ワーキング部会」の設置	「new 鶴見区」をめざし、市民サービスの向上や業務改善について議論し、改善案をとりまとめ、区長や課長級職員等で構成する「鶴見区会議」に企画提案する。審査を通過した改善案については、実施に向けて本格検討される。職員間の情報共有のために「change the つるみ」を発行。
阿倍野区	CS 推進運動の実施	市民満足度(CS)の向上させるため、毎月強化項目を設定して全職員で取り組み。
阿倍野区	「元気アップ運動」の推進	元気アップサポーターにより構成した「元気アップサポーター会議」を随時開催し、職場改善事例情報の共有や意見交換を行い、効率的・効果的な業務運営に活用。
住之江区	内部講師・参加型の接遇研修の実施	CSリーダーを中心として日常業務での事例を参考に作成した計画・教材を使い、年間に職員の半数ずつを対象として、内部講師によるグループ討議などを取り入れた参加型研修を実施。
住之江区	プロジェクトチーム	職員有志により、区役所のサービス向上や接遇向上に向けた課題を話し合い、所属と協力しながら実現のため取り組んでいる。
住之江区	地域担当研修の実施	職員が、区や地域の事情に理解と関心を深めることを目的に、大災害時を想定して、全職員がそれぞれで分担された各避難施設に出向き、地理的な情報を収集する研修を実施。
住吉区	CS推進運動の実施	市民満足度(CS)を向上させるため、毎月強化項目を設定して、全職員で取り組んでいる。
住吉区	「元気アップサポーター会議」の設置	「元気アップ運動」を進めていくために、「元気アップサポーター」を選任し、「元気アップサポーター会議」を設置。推進役である区長も毎回同席し、職場内の様々な改善・問題点を協議・検討している。 なお、CS推進メンバーも「元気アップサポーター会議」のCS部会として位置づけ会議に出席して取組みを進めている。
平野区	「CS 研修」の実施	市民満足度(CS)を向上するためにCS 推進計画を策定し、庁内情報誌「こっこん通信」に掲載。また、20年度は管理職(係長級)による玄関ロビーでのCS研修を実施。
平野区	「元気アップサポーター会議」の設置	「元気アップ運動」を進めていくために「元気アップサポーター」を選任し、「元気アップサポーター会議」を設置。職場内における様々な改善点・問題点を検討して区長に報告。
西成区	「スキマ研修」の実施	各担当で行われている係長会や係会などの会議のちょっとした時間を活用して、多くの区の職員が区政改革や区長マニフェストを理解し、職場で進めていくために、1回あたり5～10分の研修を10回程度に分割した研修を実施。

3 サービスの向上、より良い職場風土形成に向けた情報共有の取組み（庁内ニュース）

いくつかの区役所では、庁内ニュースを発行し、区役所内の各担当間で区政に関するさまざまな情報を共有して、市民サービスの向上や活発な議論ができるより良い職場風土を創っていく取組みが進められています。

平成 17 年 8 月に城東区役所で発行されて以降、平成 21 年 2 月現在では 14 区で発行されています。

下の表に掲載しているもの以外にも、特定のテーマに絞った庁内ニュースや、ある担当業務に関する庁内ニュースなども発行している区役所があります。

区	名称	区	名称
福島区	フツピイレーター	東成区	解決！うりチャンネル
此花区	このは mail	城東区	News letter JOTO
港区	みなと〜く	阿倍野区	あべのいちばん
大正区	大正どうでしょう？	住之江区	御崎 3 丁目ニュース
浪速区	なにわレター	東住吉区	なっぴー広場
西淀川区	御幣島ニュース	平野区	こつとん通信
淀川区	淀川ニュース	西成区	じゃがピカ☆ニュース☆

4 区のマスコットキャラクターなど

いくつかの区には、区の PR につながるとともに、区民の皆さんに愛着をもってもらえるようなマスコットキャラクターがいます。その多くは、デザインや名称が一般公募され、専門家による審査委員会を経て決定されています。また、区のマスコットキャラクター以外にも、区の花や区民会議のマスコットキャラクターがいる区もあり、パンフレットや各種イベントで活躍しています。

○ 区のマスコットキャラクター

北区		福島区
		
のんちゃん	すーちゃん	フツピー

此花区	中央区	淀川区
		
このはちゃん	ゆめまるくん	ゆめ夢ちゃん

東淀川区	東成区		
			
こぶしのみのりちゃん	うりちゃん	かさずきん	ルカちゃん

生野区	鶴見区	阿倍野区
		
いくみん	つるりっぴ	あべのん

住之江区	住吉区	東住吉区
		
さざびー	すみちゃん	なっぴー

平野区	西成区
	
ひらちゃん	スーパーポンポコジャガピー にしなりくん

○ その他のマスコットキャラクターなど

港区	東淀川区	東成区	平野区
			
みなりん 〔 区の花ひまわり マスコットキャラクター 〕	ひかりちゃん 〔 健康づくり区民会議 シンボルマーク 〕	ふれんじー 〔 ひがしなり市民協働ステーション「ふれ愛パンジー」 マスコットキャラクター 〕	あんニャン 〔 地域安全対策 マスコットキャラクター 〕

平成 21 年 3 月発行

大阪市市民局市民部区政支援担当 電話 06-6208-7324

大阪市市民局市民部区政改革担当 電話 06-6208-7629

〒530-8201 大阪市北区中之島 1-3-20